

第67回日本臨床細胞学会総会
ワークショップ¹⁴
唾液腺細胞診のピットホール
— スライドカンファレンス形式 —
類基底細胞腫瘍

鎌ヶ谷総合病院病理検査科¹⁾、
日本大学松戸歯学部病理学講座²⁾

加藤 拓¹⁾、亀山由歌子²⁾、宇都宮忠彦²⁾、久山佳代²⁾

第67回日本臨床細胞学会総会（春期大会） COI開示

筆頭演者名：加藤 拓

今回の演題に関して開示すべきCOIはありません

「類基底細胞腫瘍」この腫瘍は細胞質が乏しく、未熟な基底細胞様の形態をした細胞が主体を占める腫瘍として特徴づけられる。

症例 1：

70歳代、男性。数年前より右側頬部（耳下腺下極）の腫脹に気付いていたが、変わらないため放置。最近の歯科治療にて腫脹が増大した気がするとのことで受診。

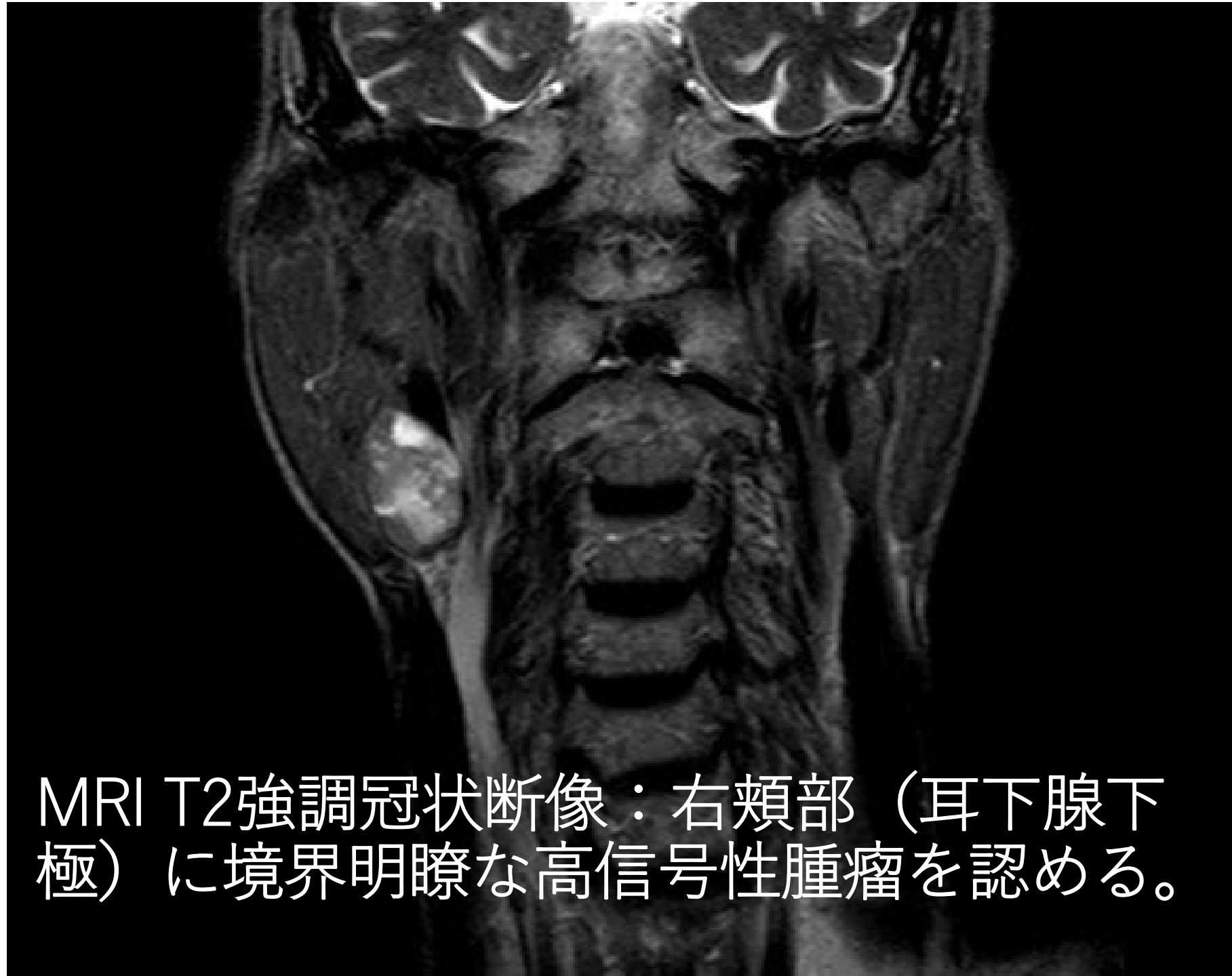
画像所見：

MRIにて境界明瞭な16.5×16mmのT1強調像に低信号を示した。

画像的には良性腫瘍を疑っている。

標本作製方法：

穿刺吸引直接塗抹法。Papanicolaou染色、Giemsa染色



MRI T2強調冠状断像：右頬部（耳下腺下極）に境界明瞭な高信号性腫瘤を認める。

選択肢 1

ミラノシステム診断区分

1. 不適正
2. 非腫瘍性
3. 意義不明な異型 (AUS)
4. 良性腫瘍
5. 良悪性不明な腫瘍 (SUMP)
6. 悪性疑い
7. 悪性

選択肢 2

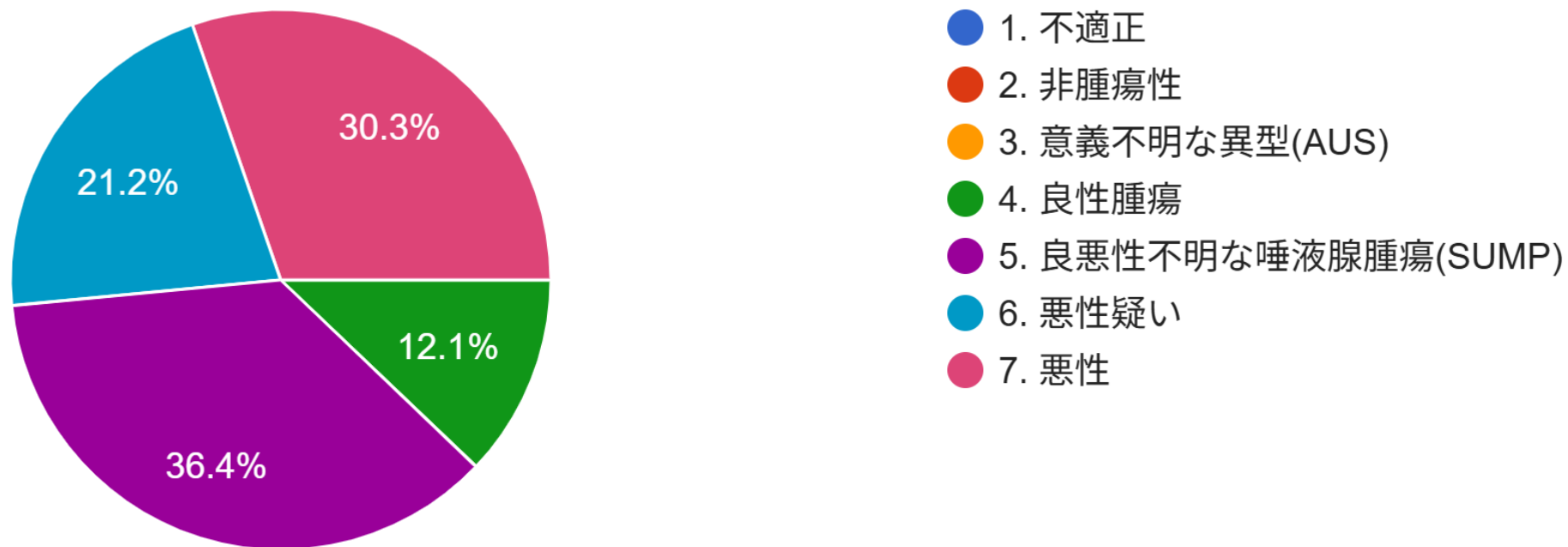
組織型推定

1. 富細胞性多形腺腫
2. 筋上皮腫
3. 基底細胞腺腫
4. 腺様嚢胞癌
5. 上皮筋上皮癌
6. その他

【ワークショップ14】 事前投票結果：第67回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

症例1 選択肢1 【ミラノシステム診断区分】

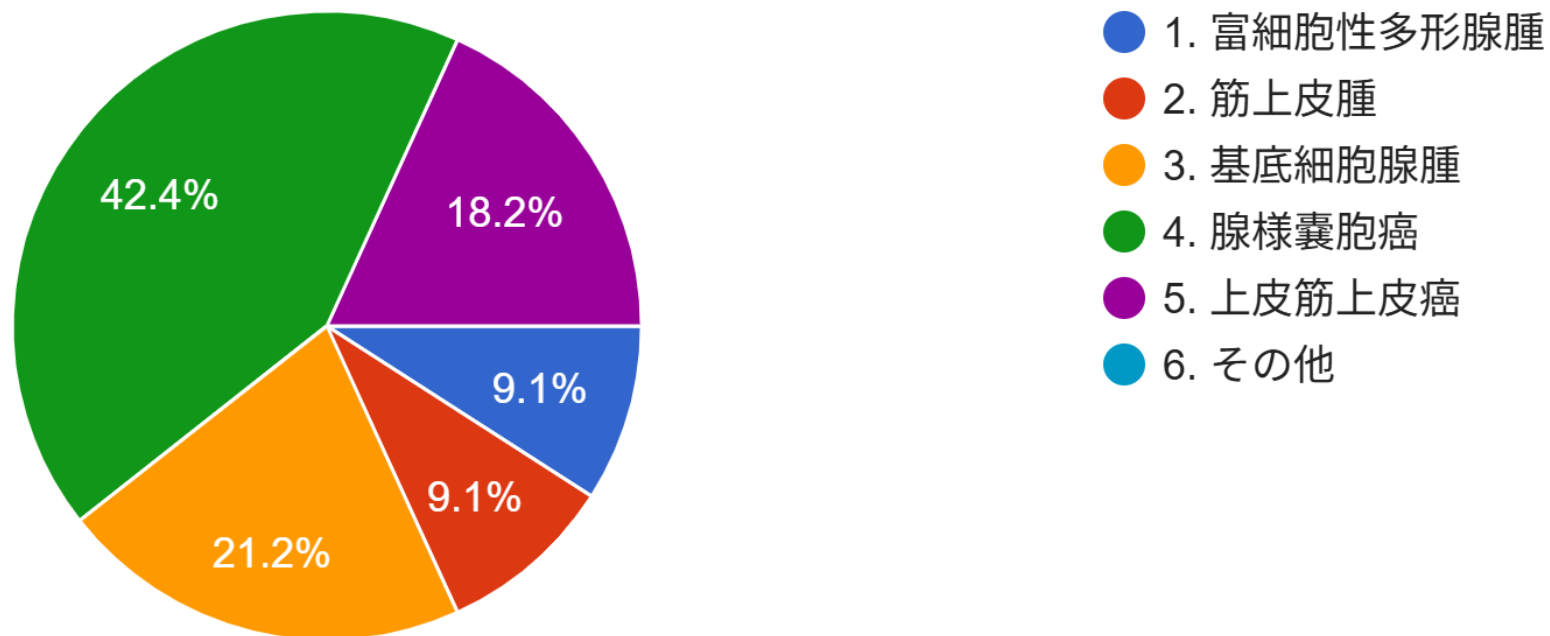
33 件の回答

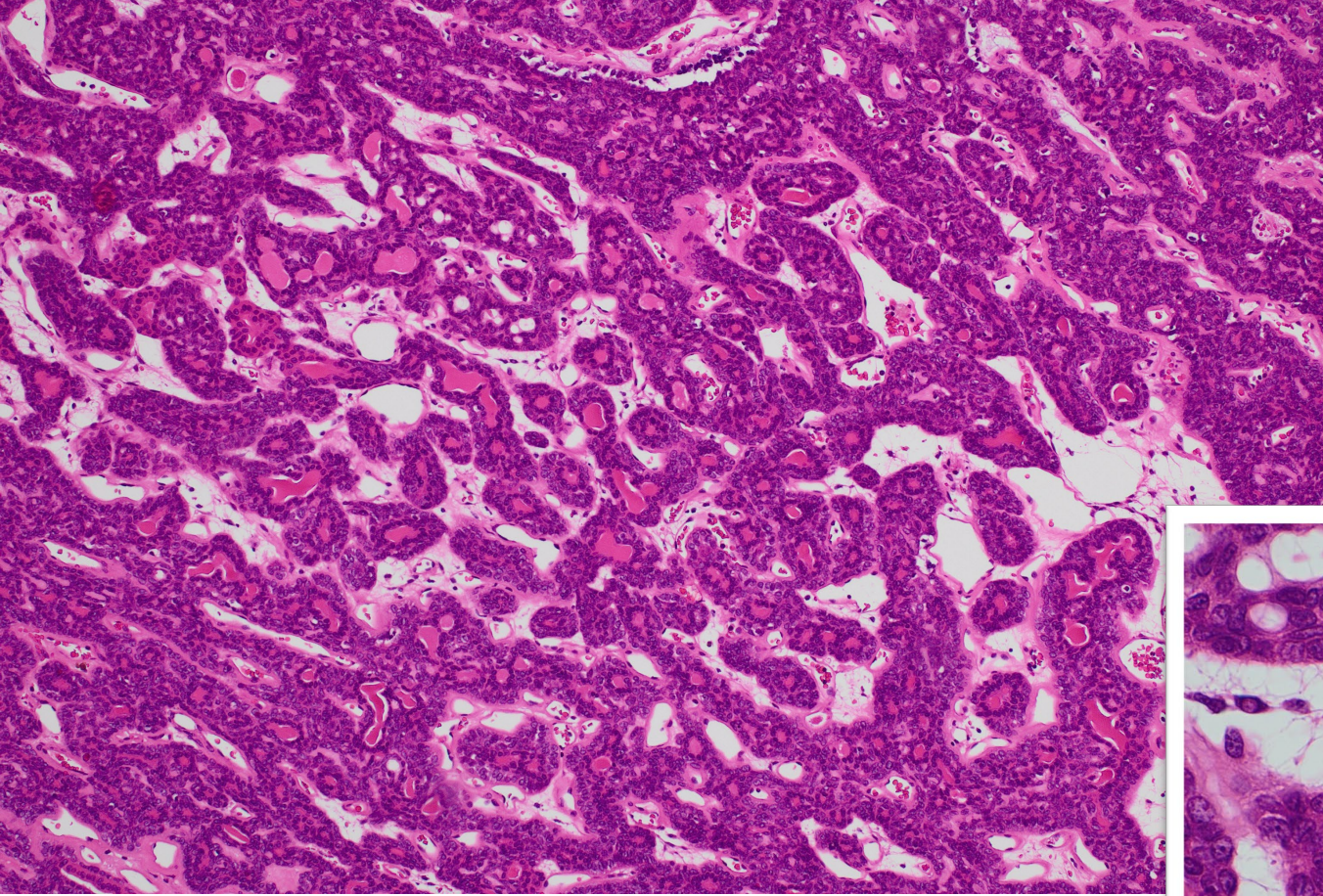


【ワークショップ14】 事前投票結果：第67回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

症例1 選択肢2【組織型推定】

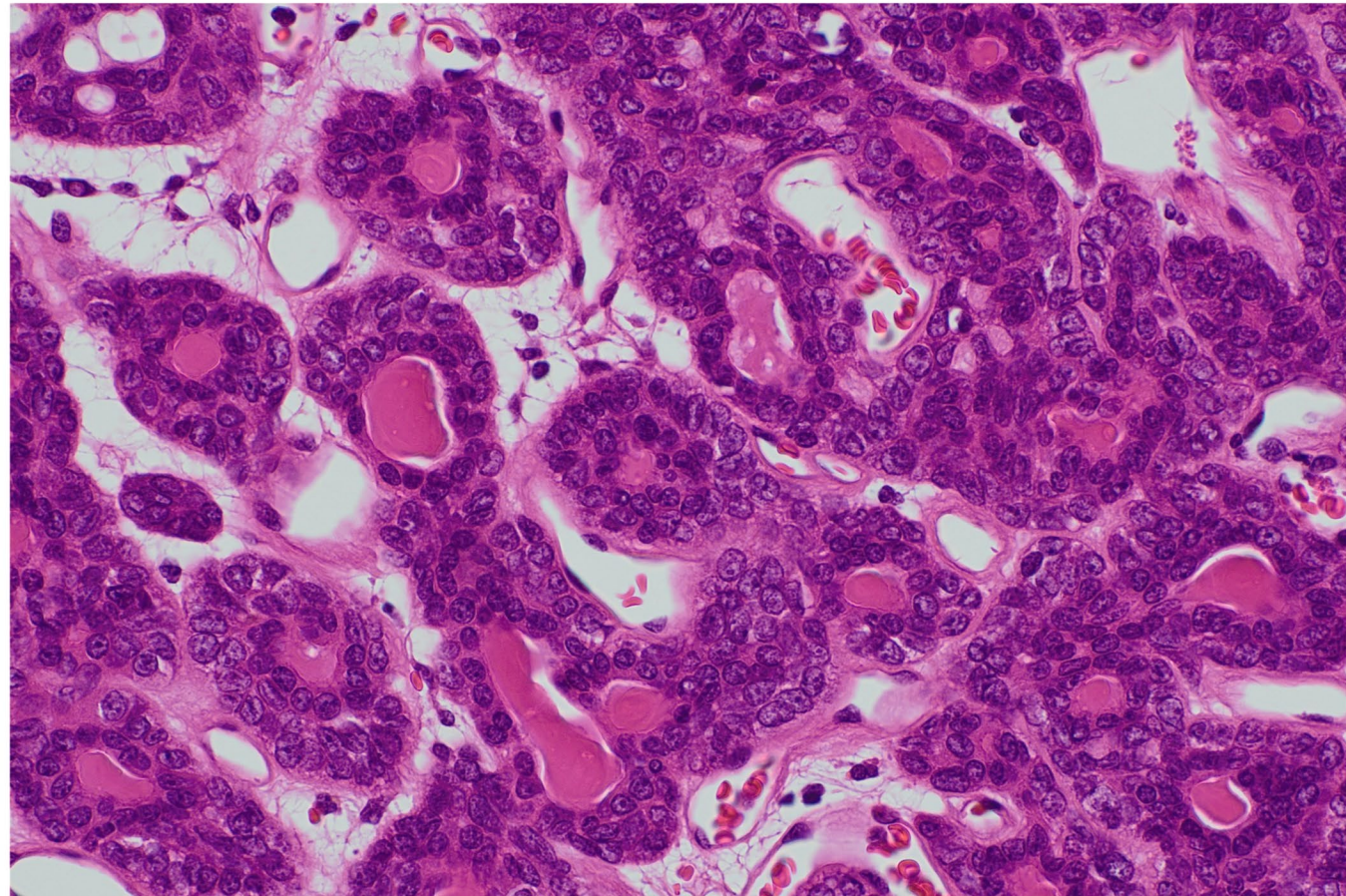
33 件の回答

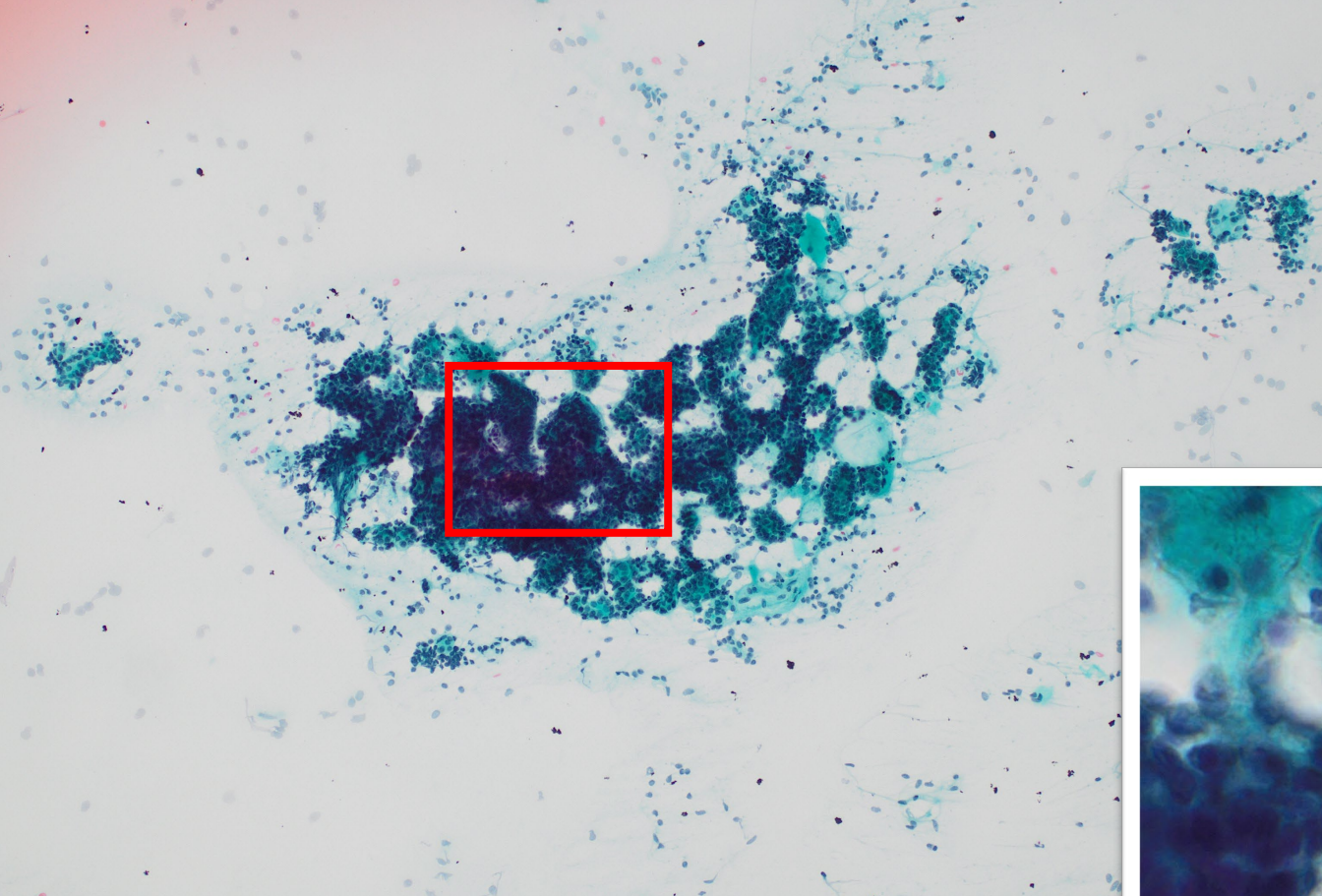




- 基底細胞腺腫

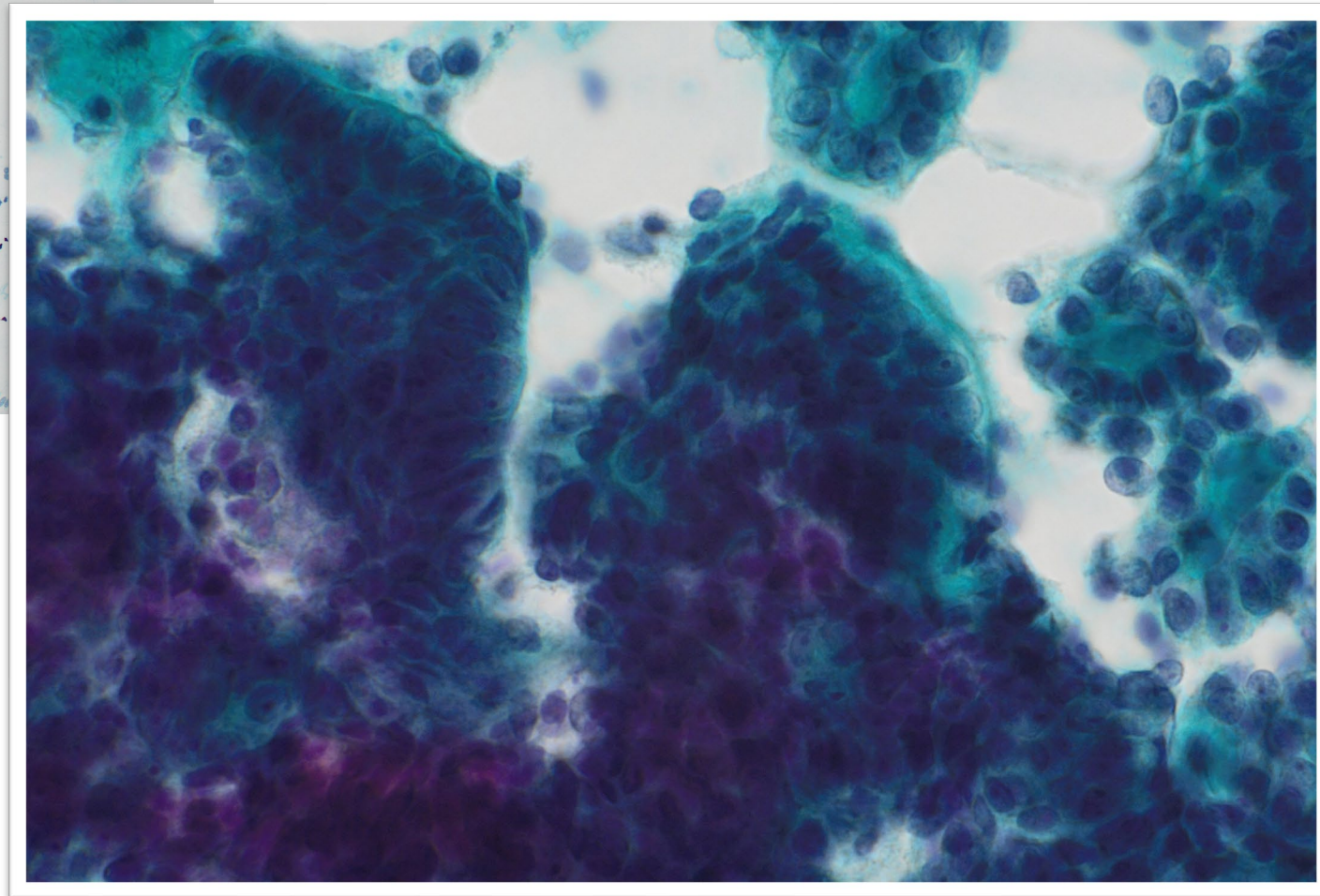
- 腫瘍細胞は二層性の管状配列が目立ち、策状配列をみることもある
- 周囲には基底膜物質と間質がみられる

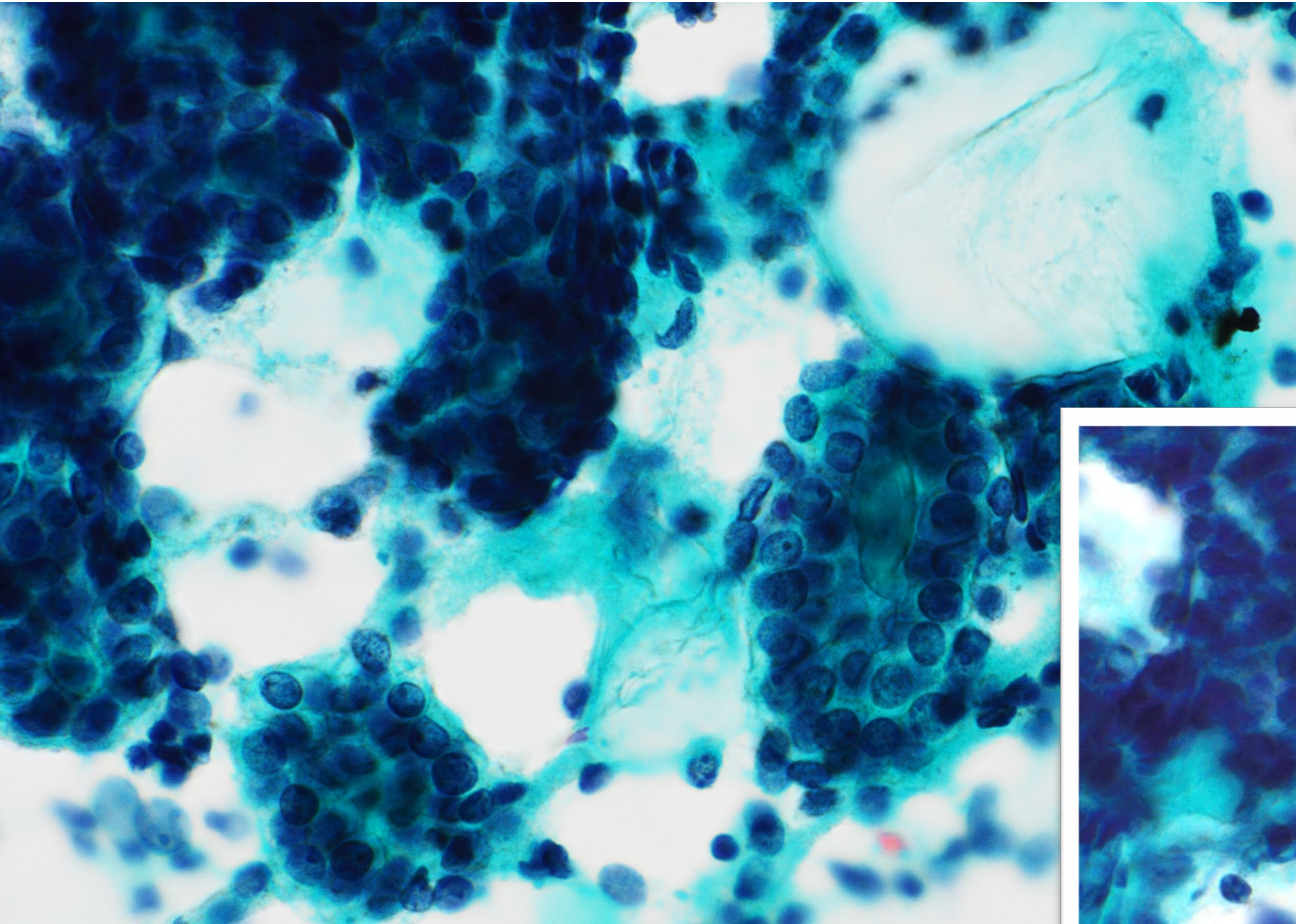




- 背景は比較的きれい
- 結合性の強い小型類円形単一の細胞集塊

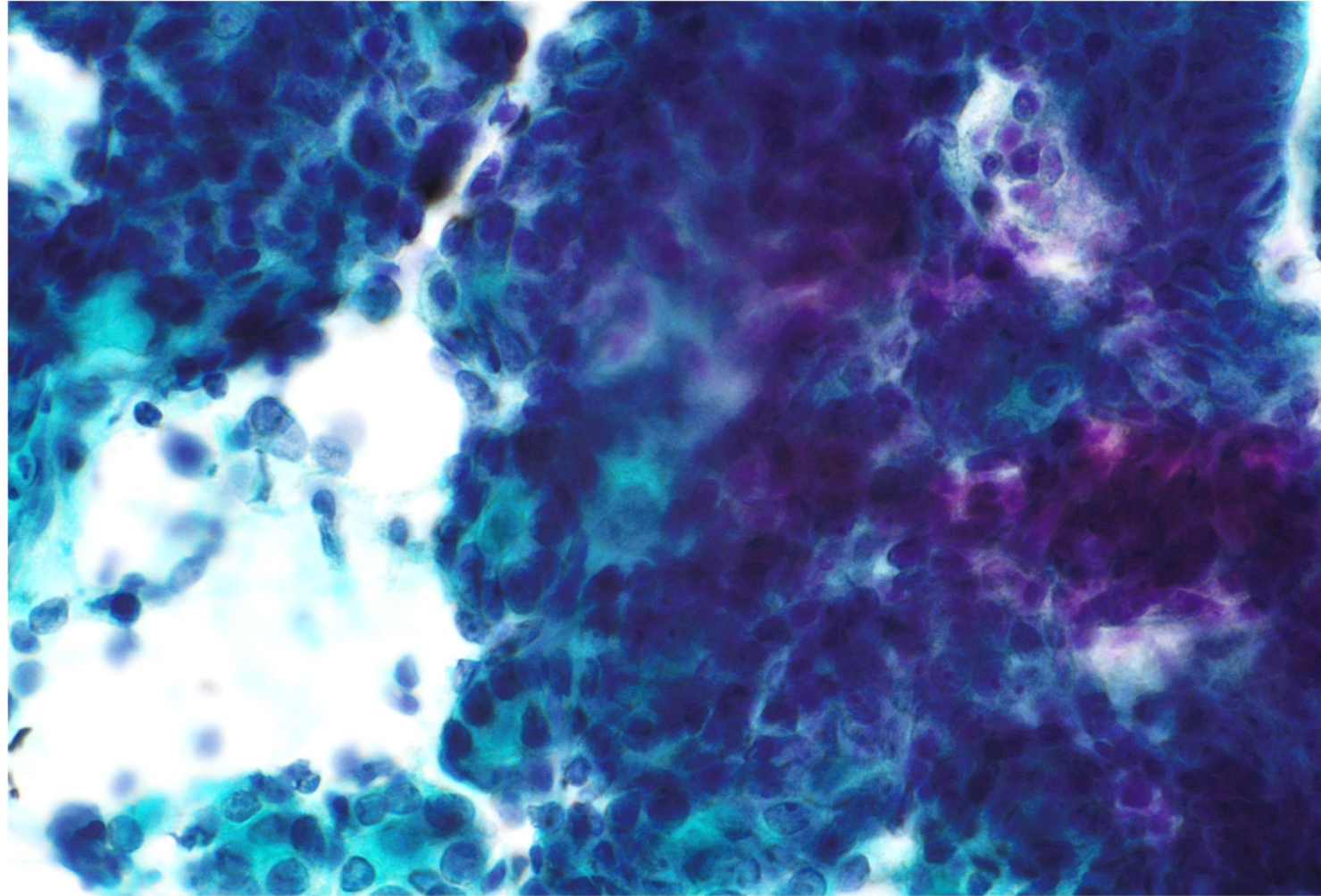
- 集塊辺縁にシャープな膜状物質
- 核は柵状palisading配列



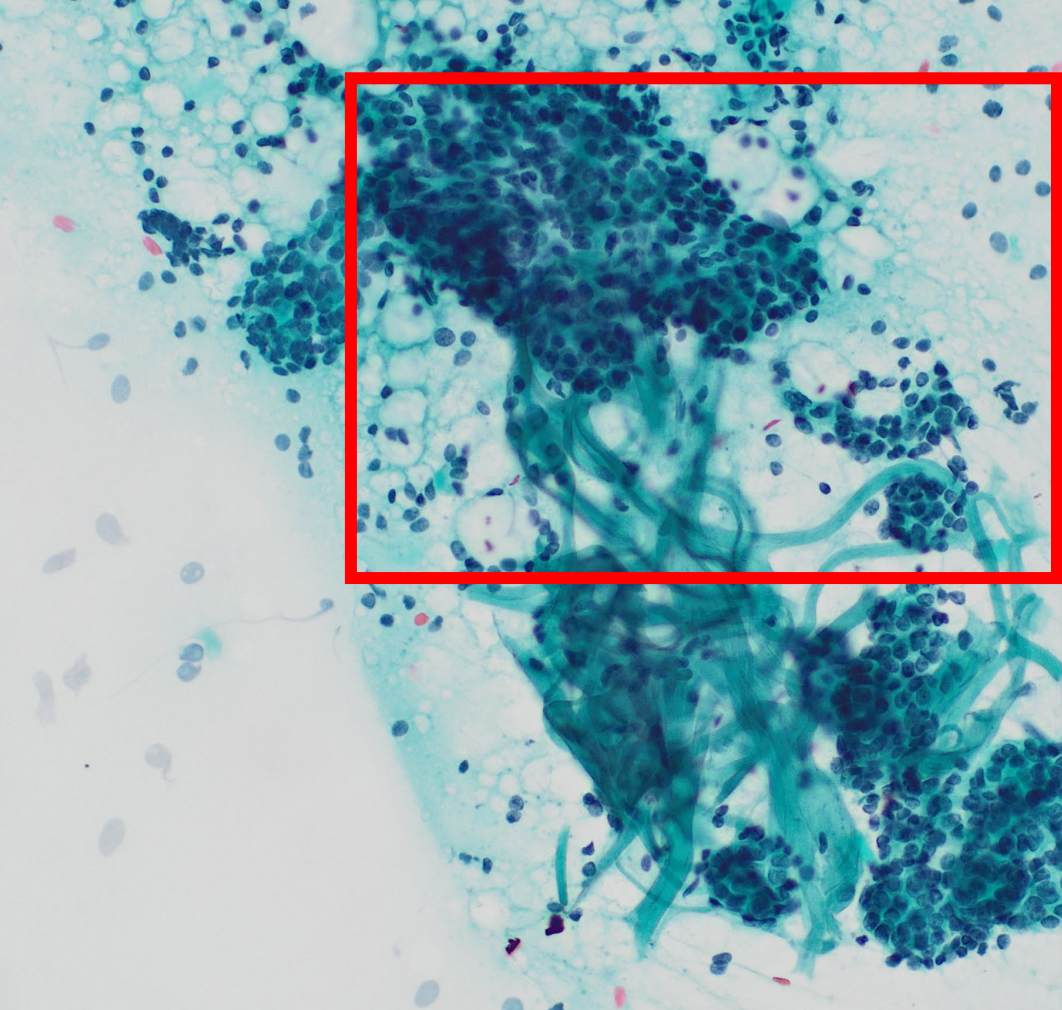


- 集塊内の細胞は管状配列、腺腔内には粘液様物質もみる

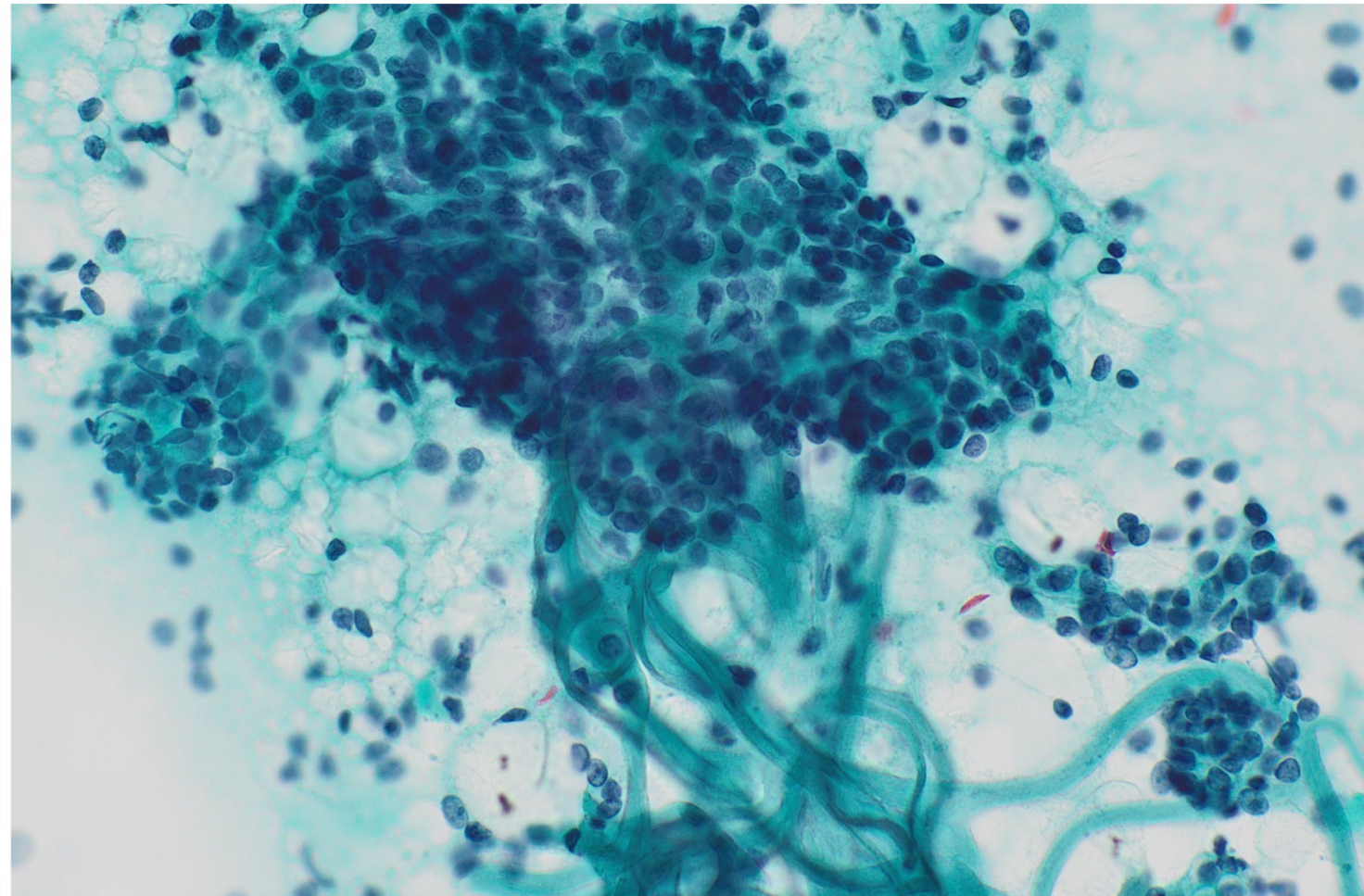
- 密度の高い個所では篩状配列



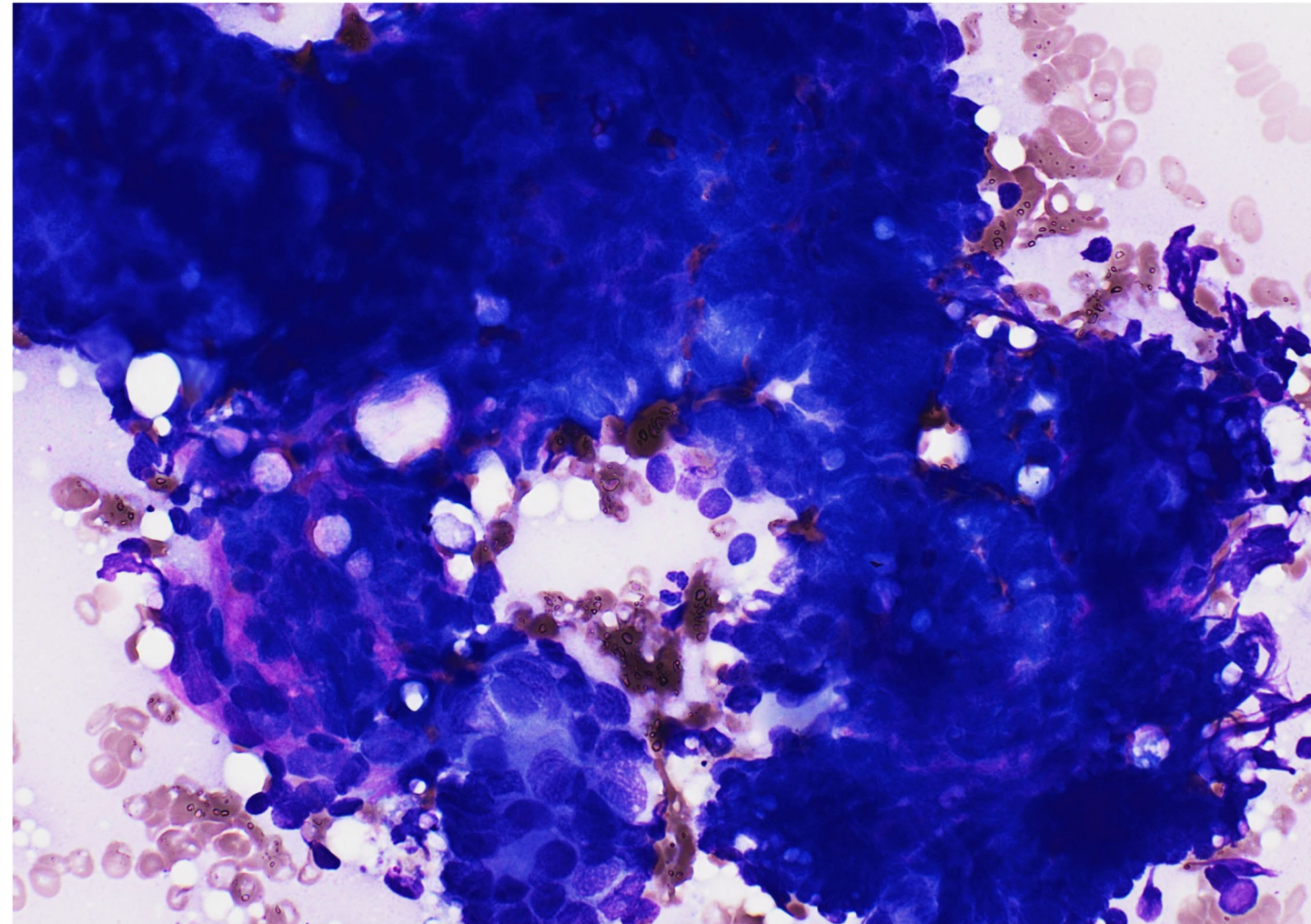
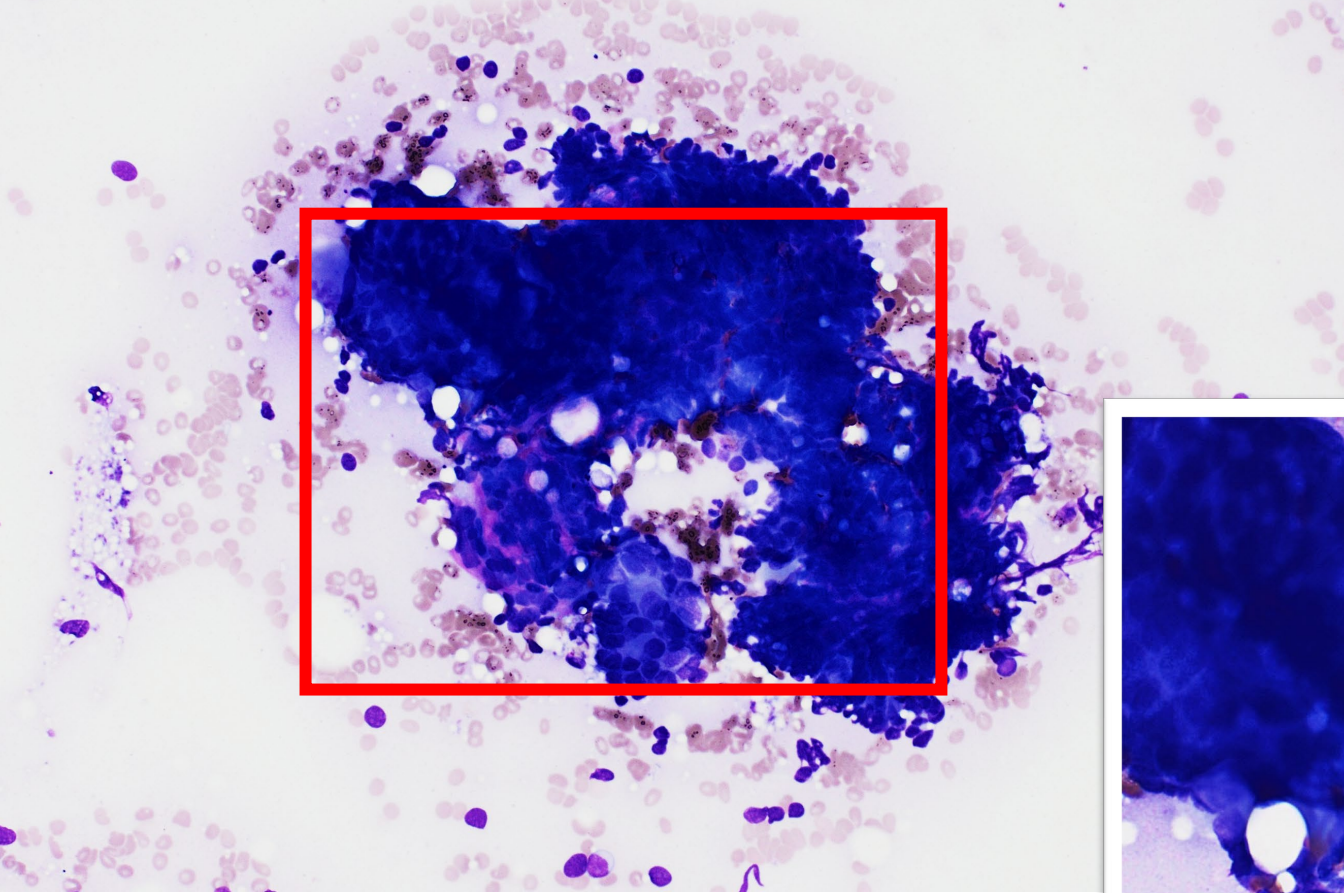
- 時に集塊辺縁に膜状または線維状の間質物質をみる



- 集塊辺縁に付着する様にみられる

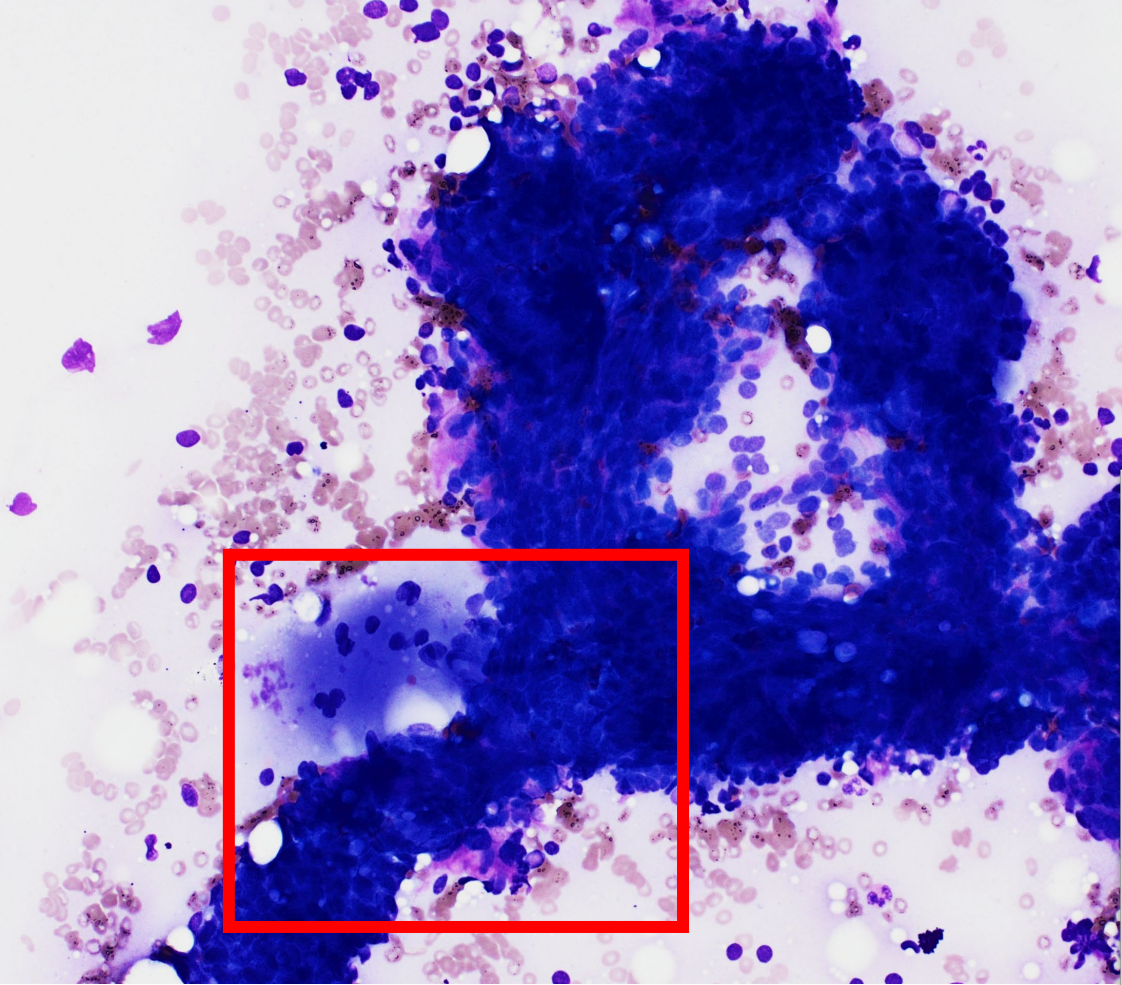


- Giemsa染色：集塊の結合性強く、細胞質の乏しい小型類円形単一の集塊

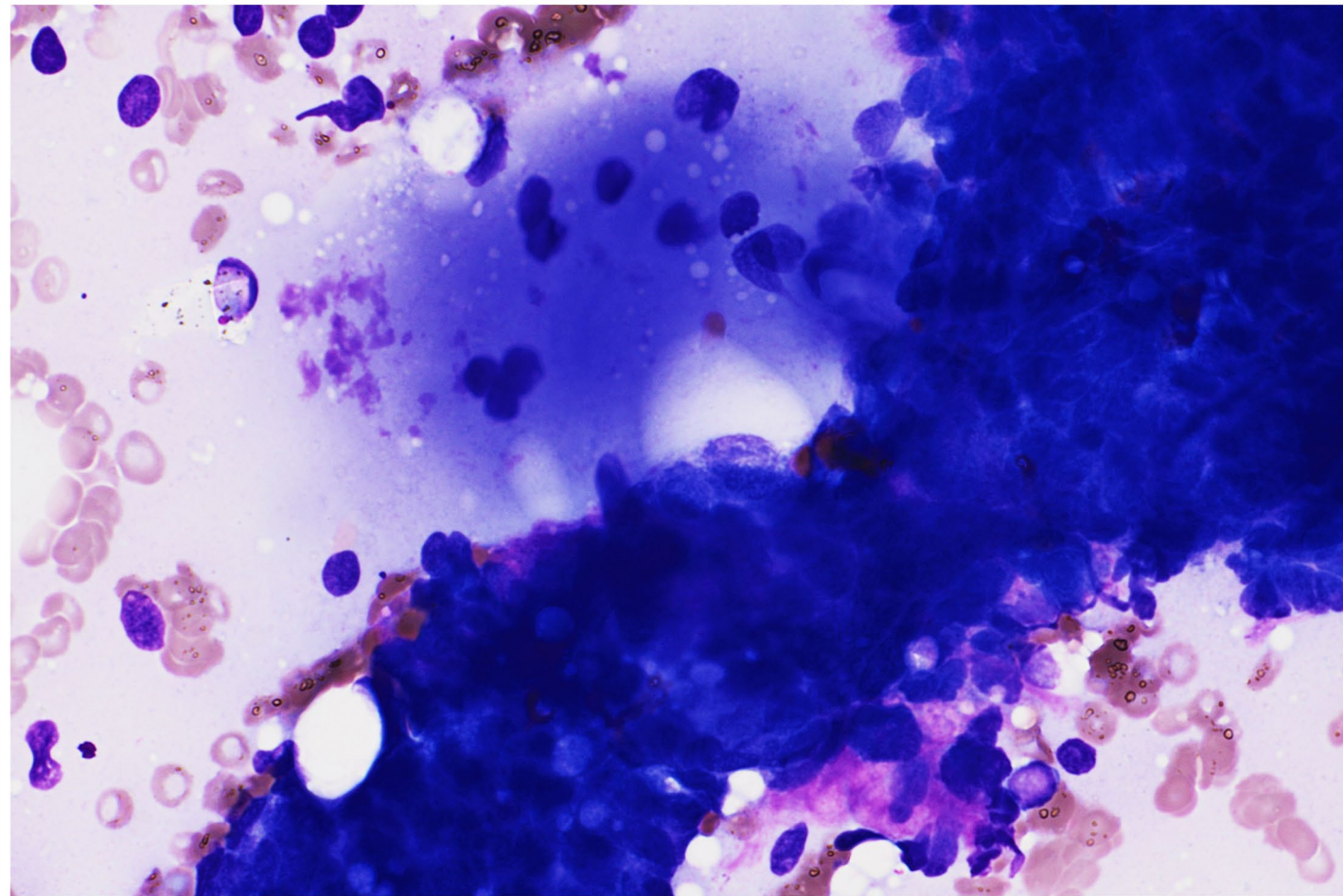


- 集塊辺縁に異染性を示す膜状物質を部分的にみる
- 管腔内には認めない

- Giemsa染色：小型類円形細胞集塊の辺縁に淡い異染性物質と非異染性物質

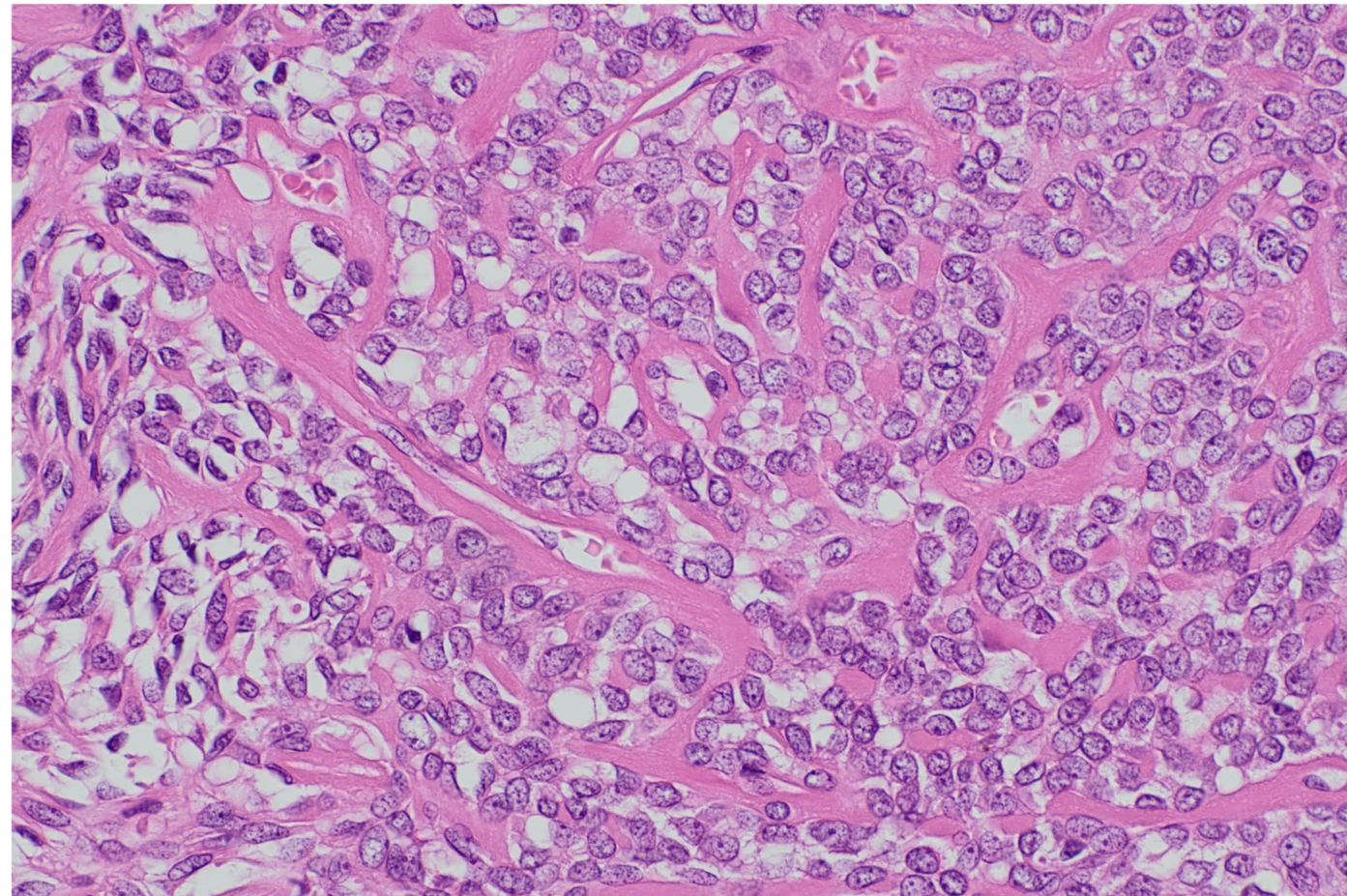


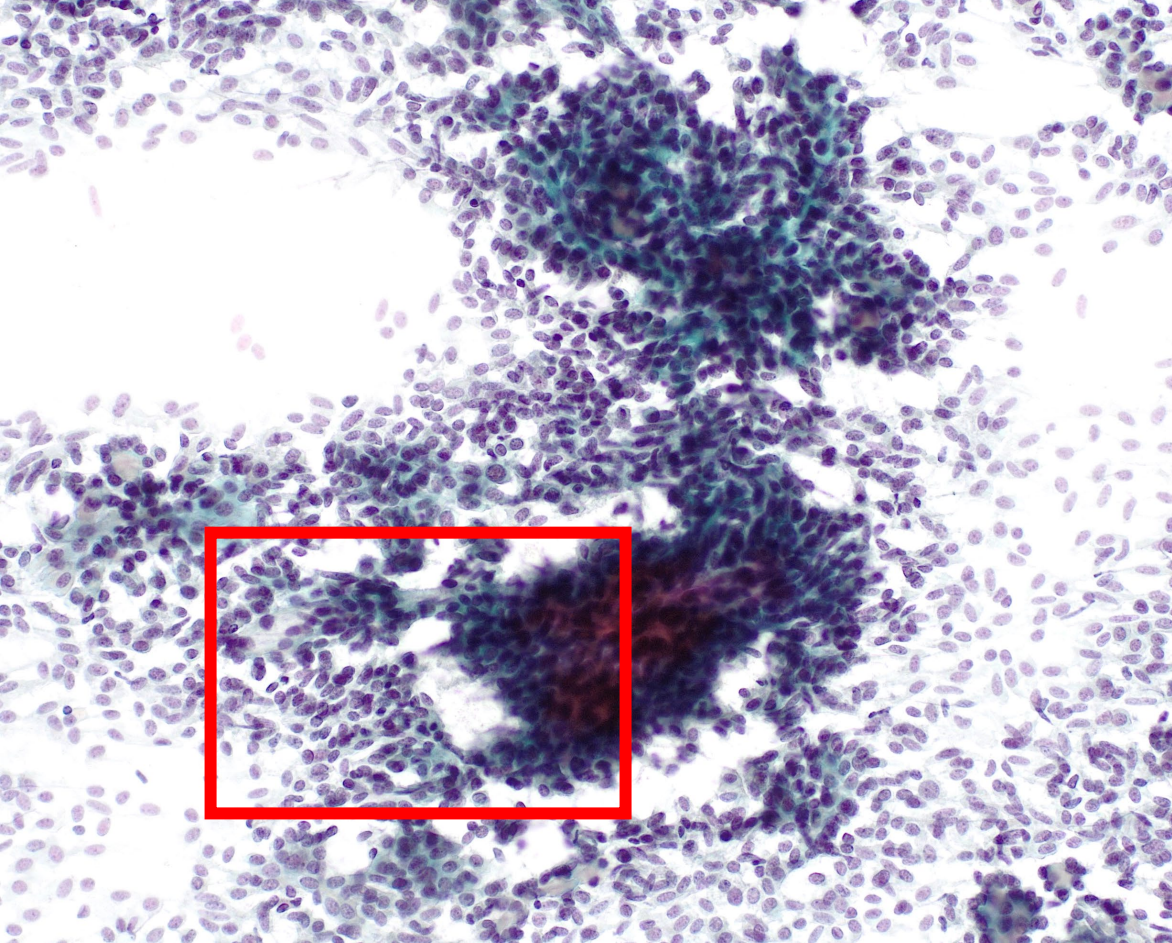
- 非異染性物質の境界は不明瞭、中に散在性の核所見をみる



• 富細胞性多形腺腫

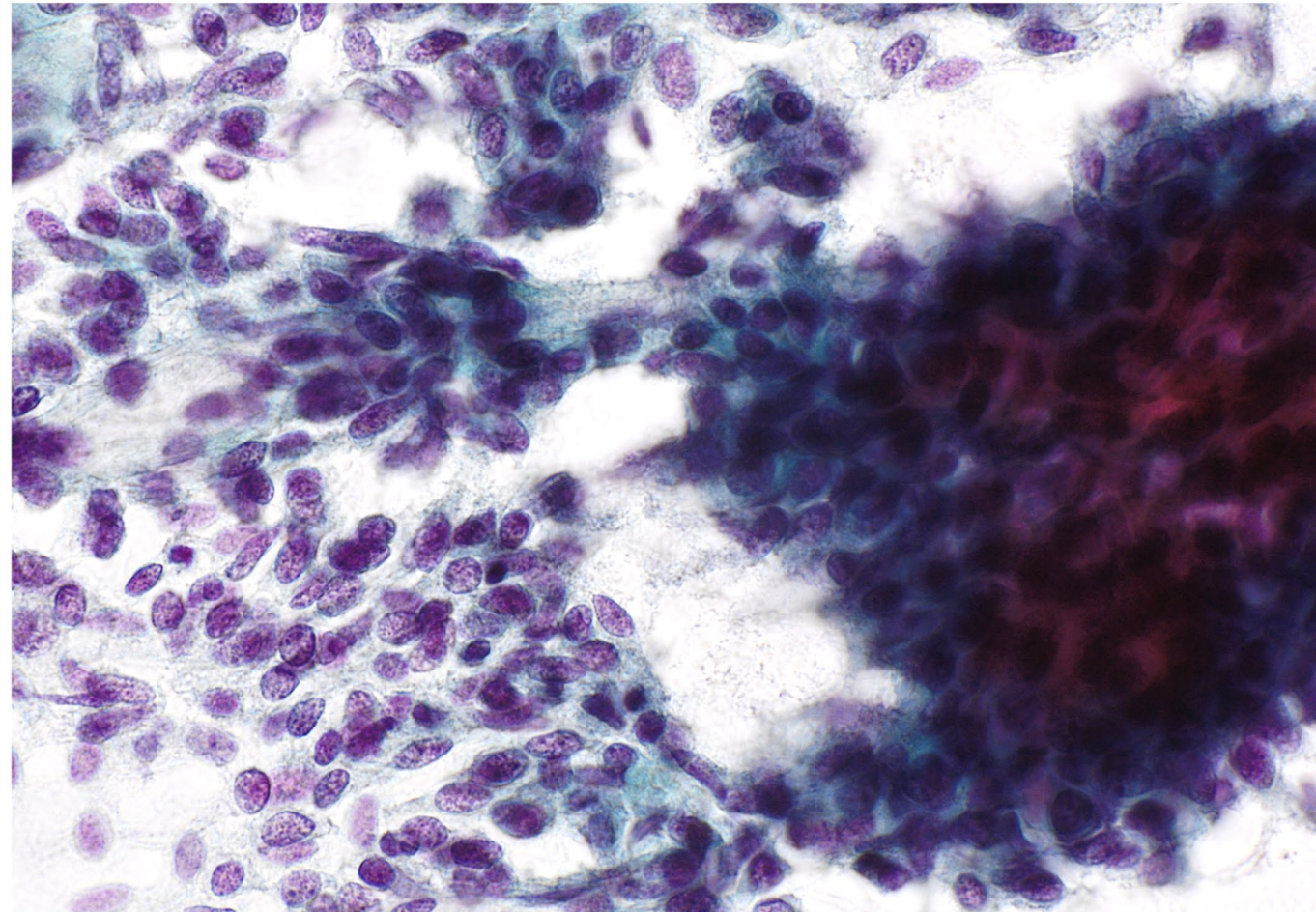
- 腫瘍細胞は単一な小型類円形で多くは一定の配列を示さない
- 腺管細胞や間質性粘液は乏しい

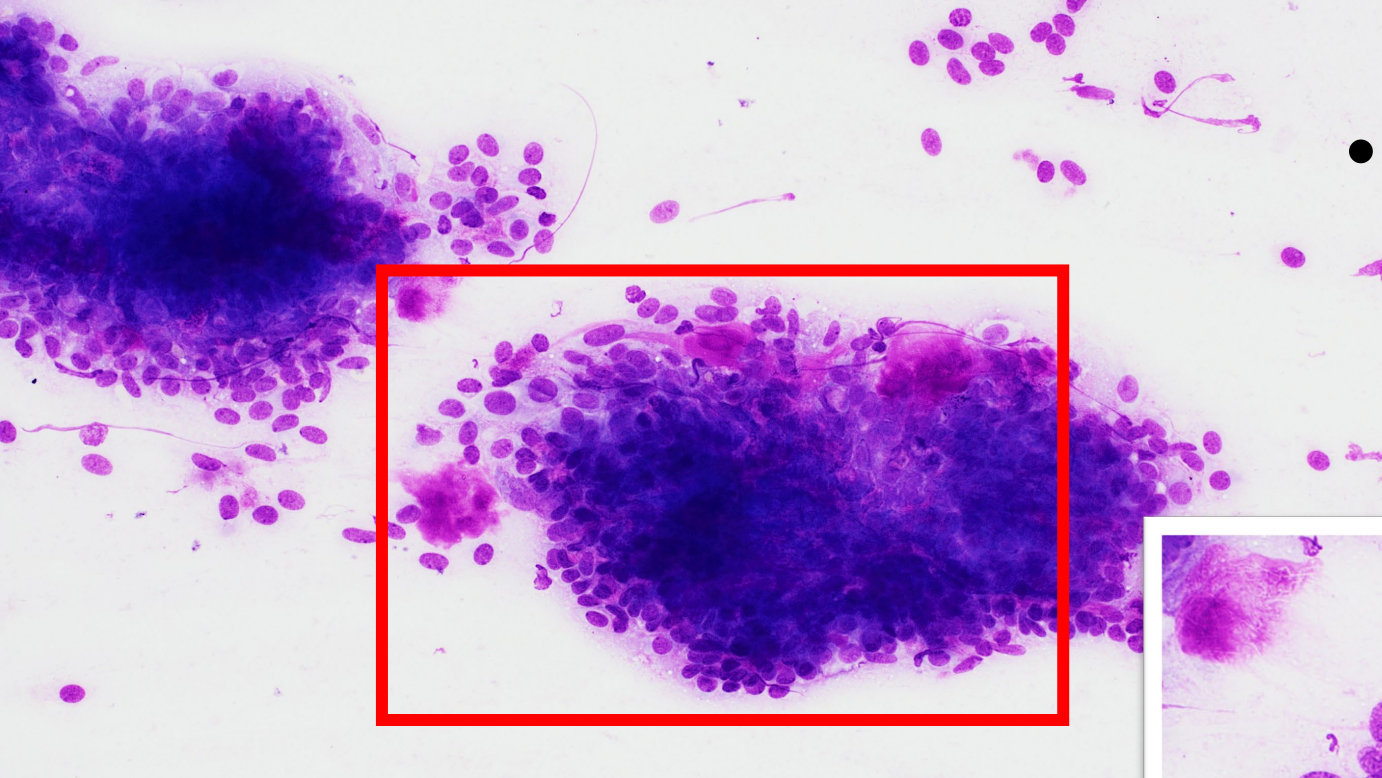




- 背景に間質性粘液は不明瞭
- 腫瘍細胞は単一の小型類円形で散在性と集塊性から成る。時に腺管様細胞をみる

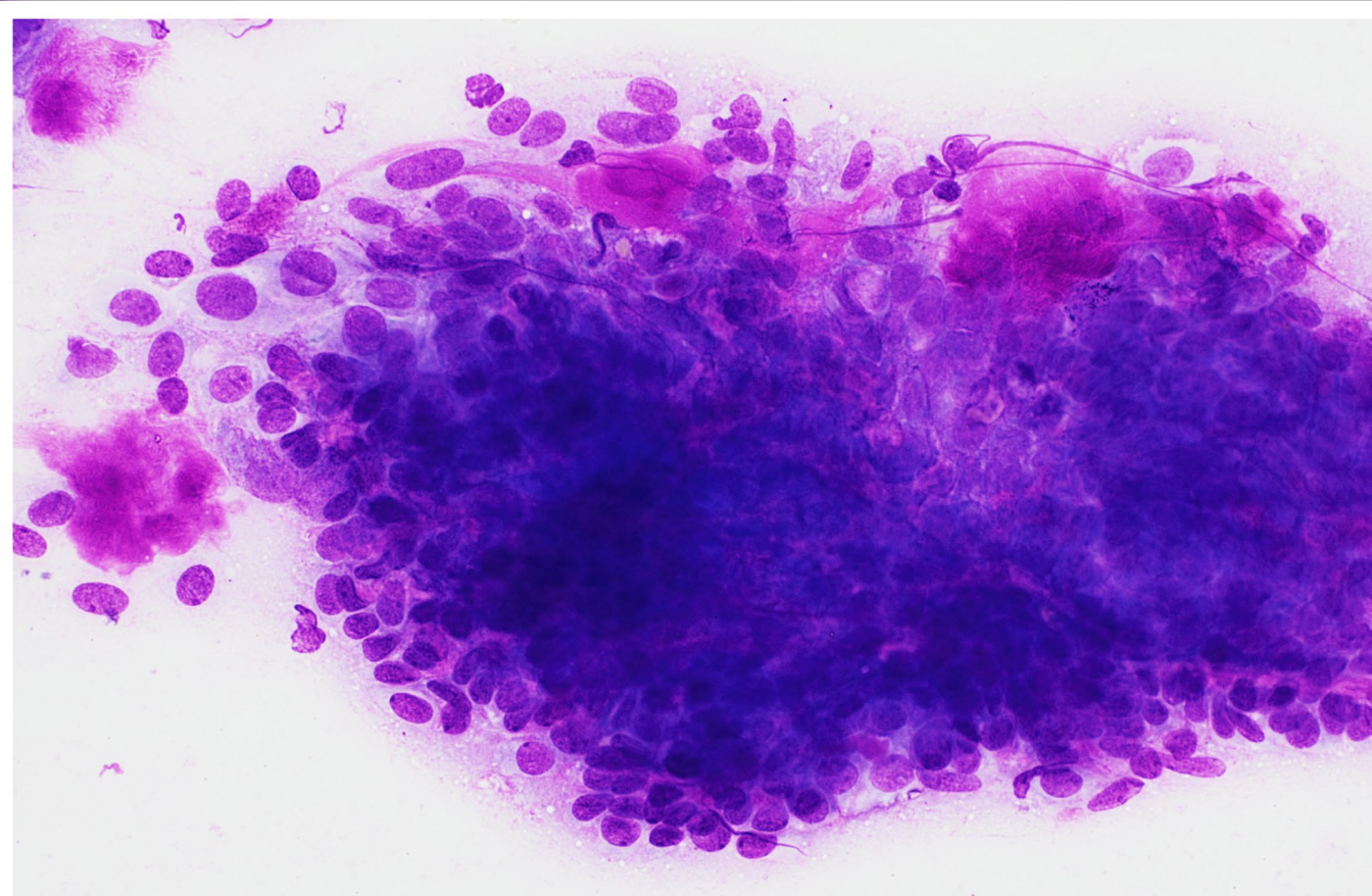
- 集塊細胞の結合はゆるい
- 僅かにみられる細胞質は淡いライトグリーン好染





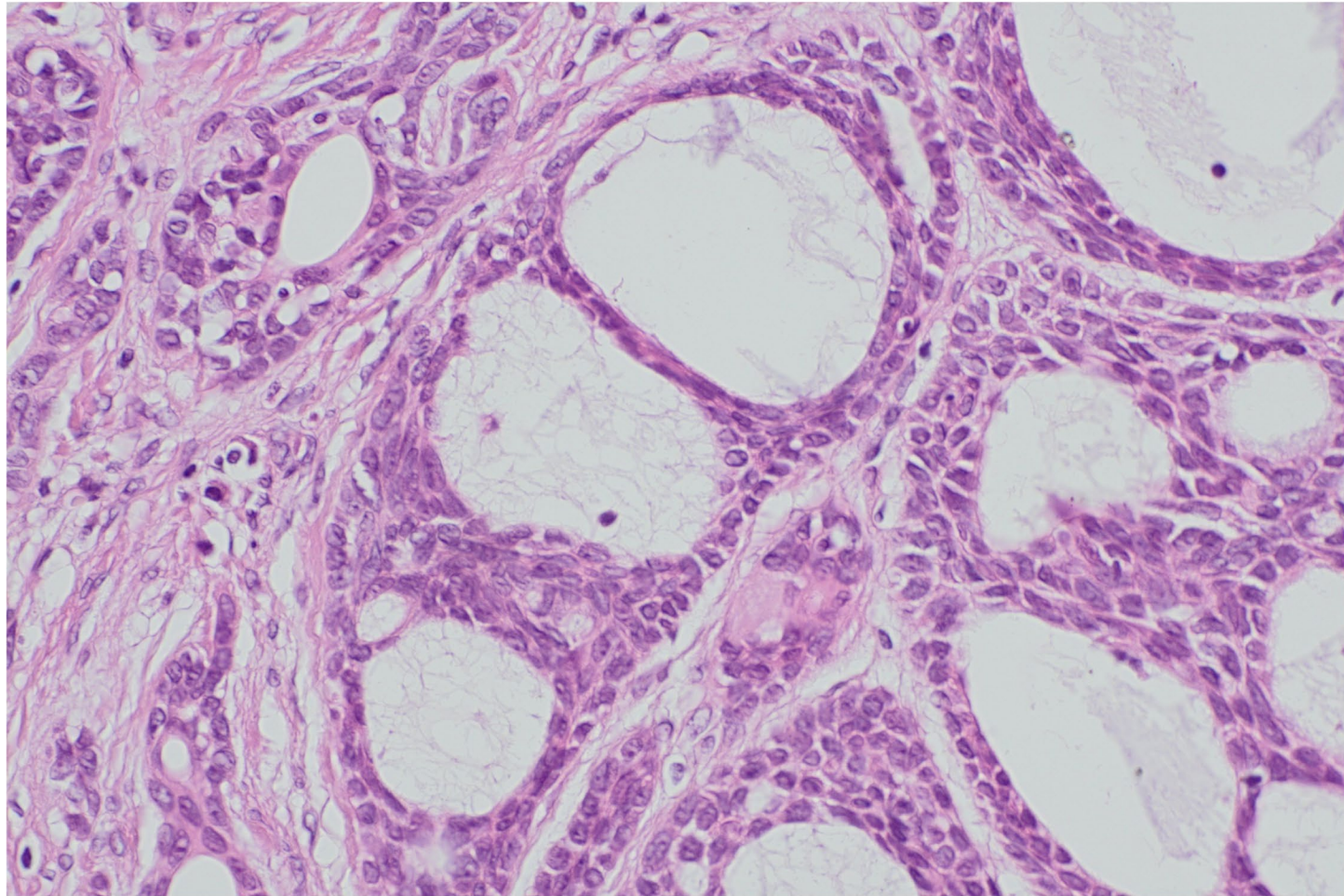
- Giemsa染色：細胞集塊の一部に異染性物質を散在してみる

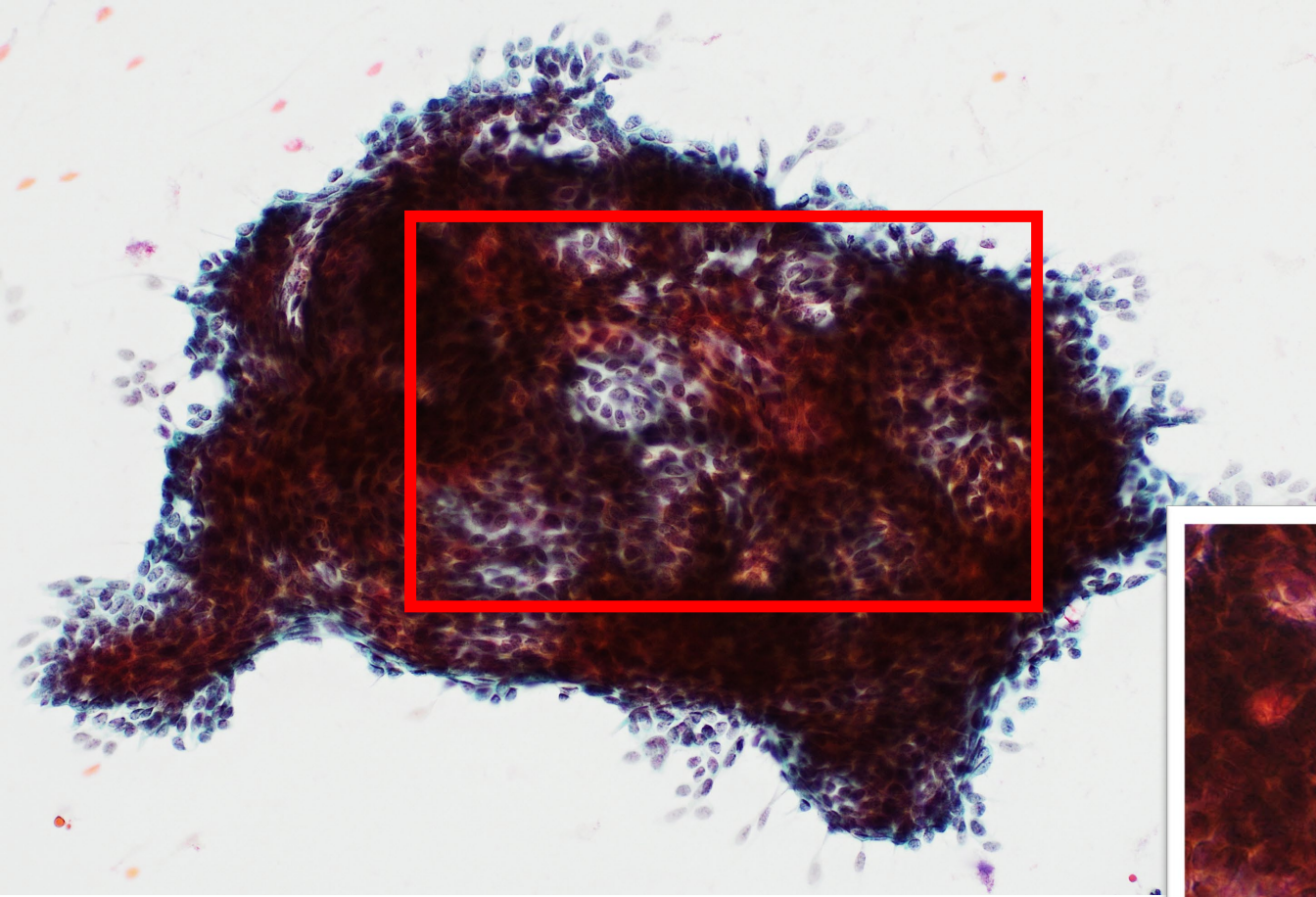
- 膜状とは異なり物質間の繋がりはなく散在し
辺縁は羽毛状



- 腺様嚢胞癌

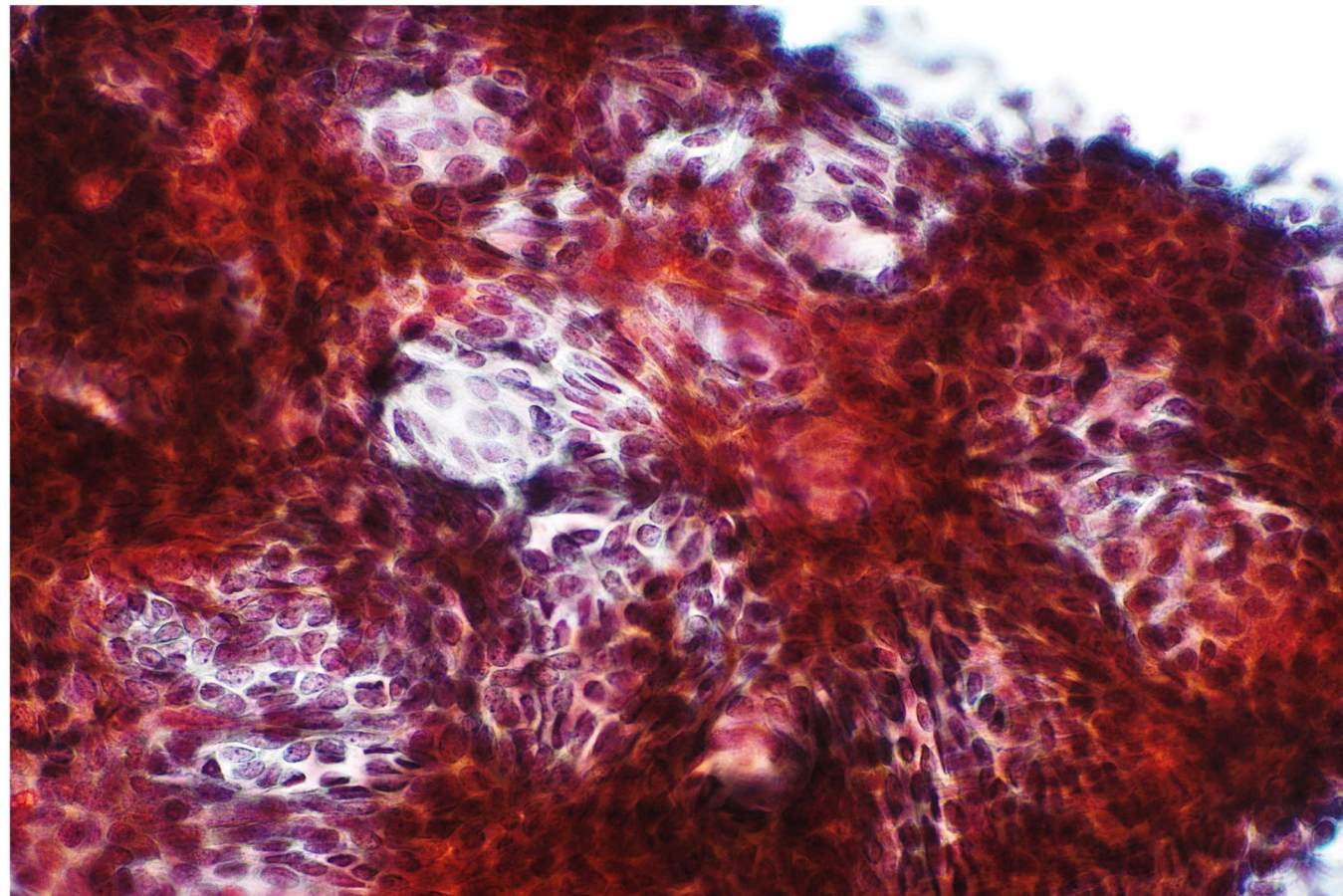
- 腫瘍細胞は大小の嚢胞腔を示す篩状配列をみる。内腔には間質性粘液、時に上皮性粘液をみる。

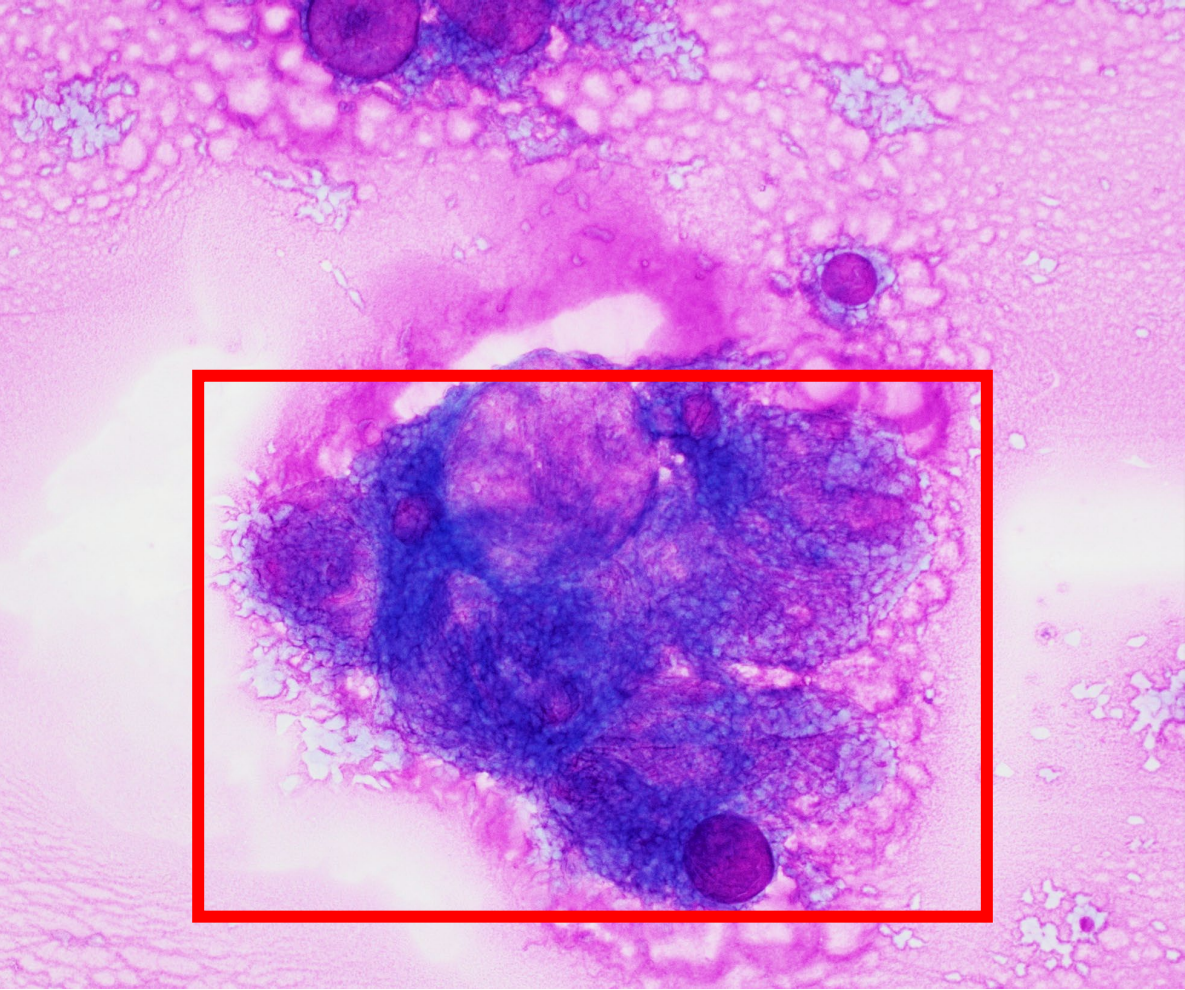




- 背景は比較的きれいで、腫瘍細胞は結合性を示す集塊で類円形～紡錘形細胞からなる。

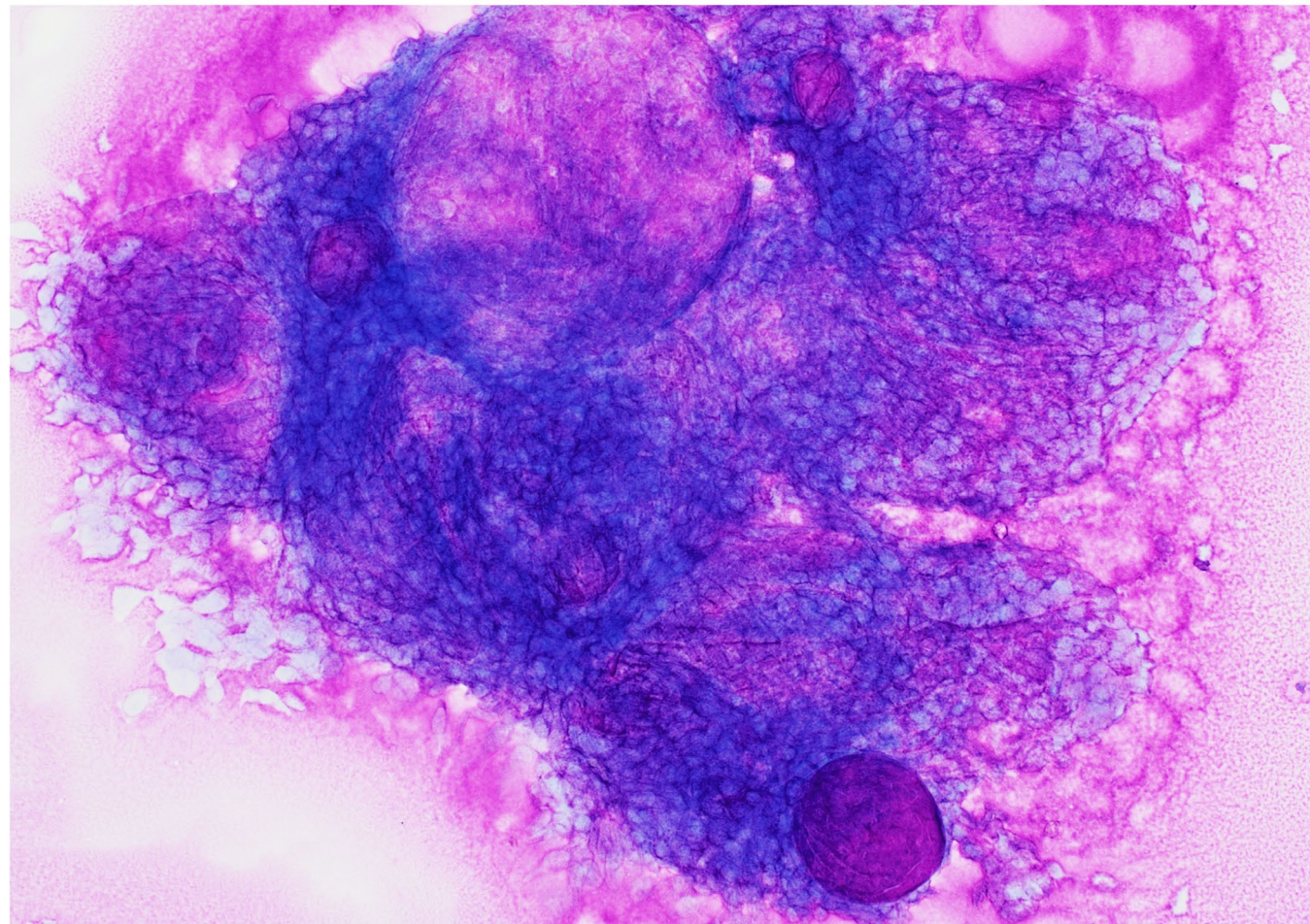
- 集塊内には大小の球状腔が多数みられ、篩状配列を示す

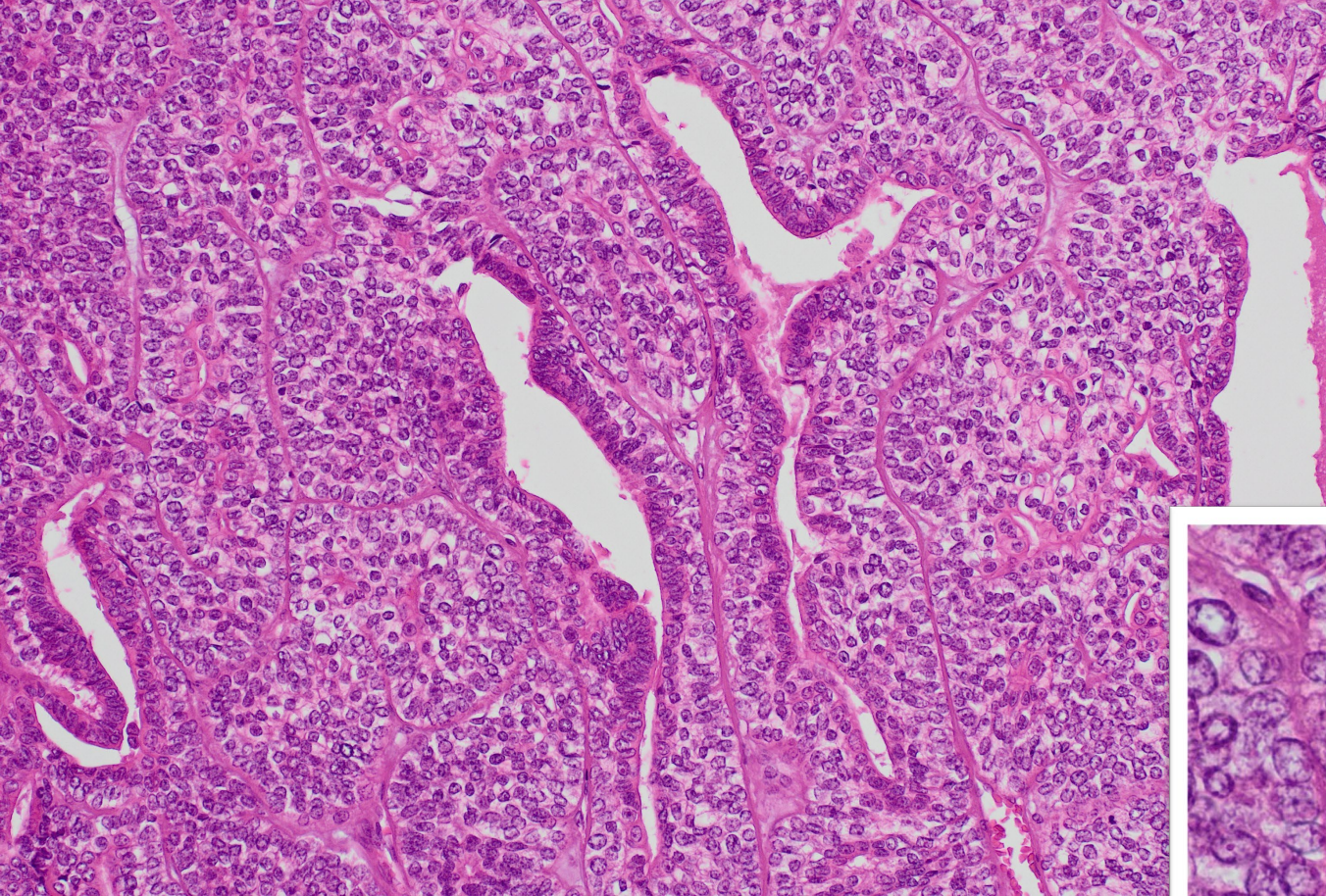




- Giemsa染色：集塊内の篩状空胞には球状の異染性を示す間質性粘液と基底膜物質がみられる。

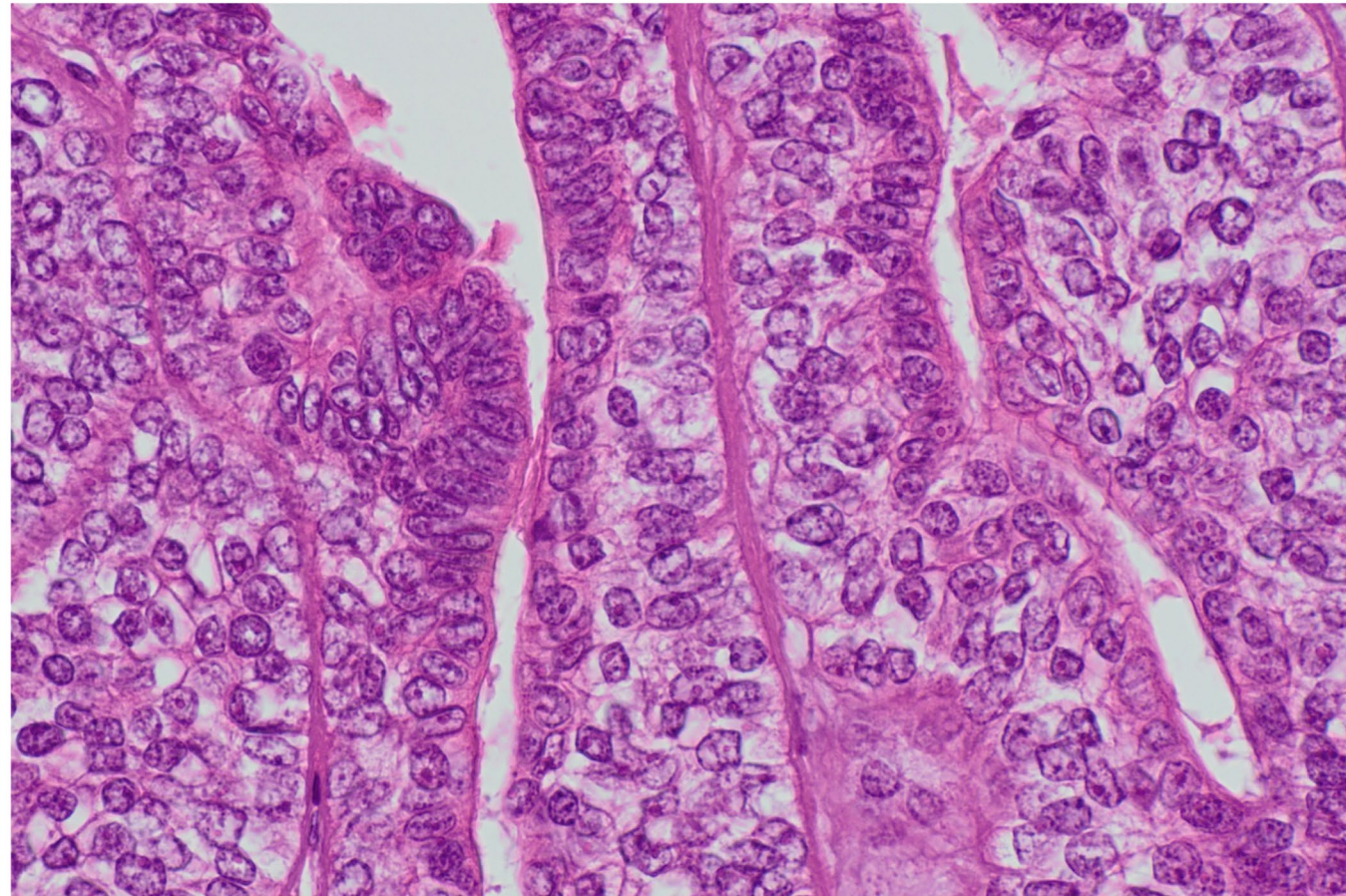
- しかし、空胞は全て異染性を示すわけではなく、示さない空胞もみる

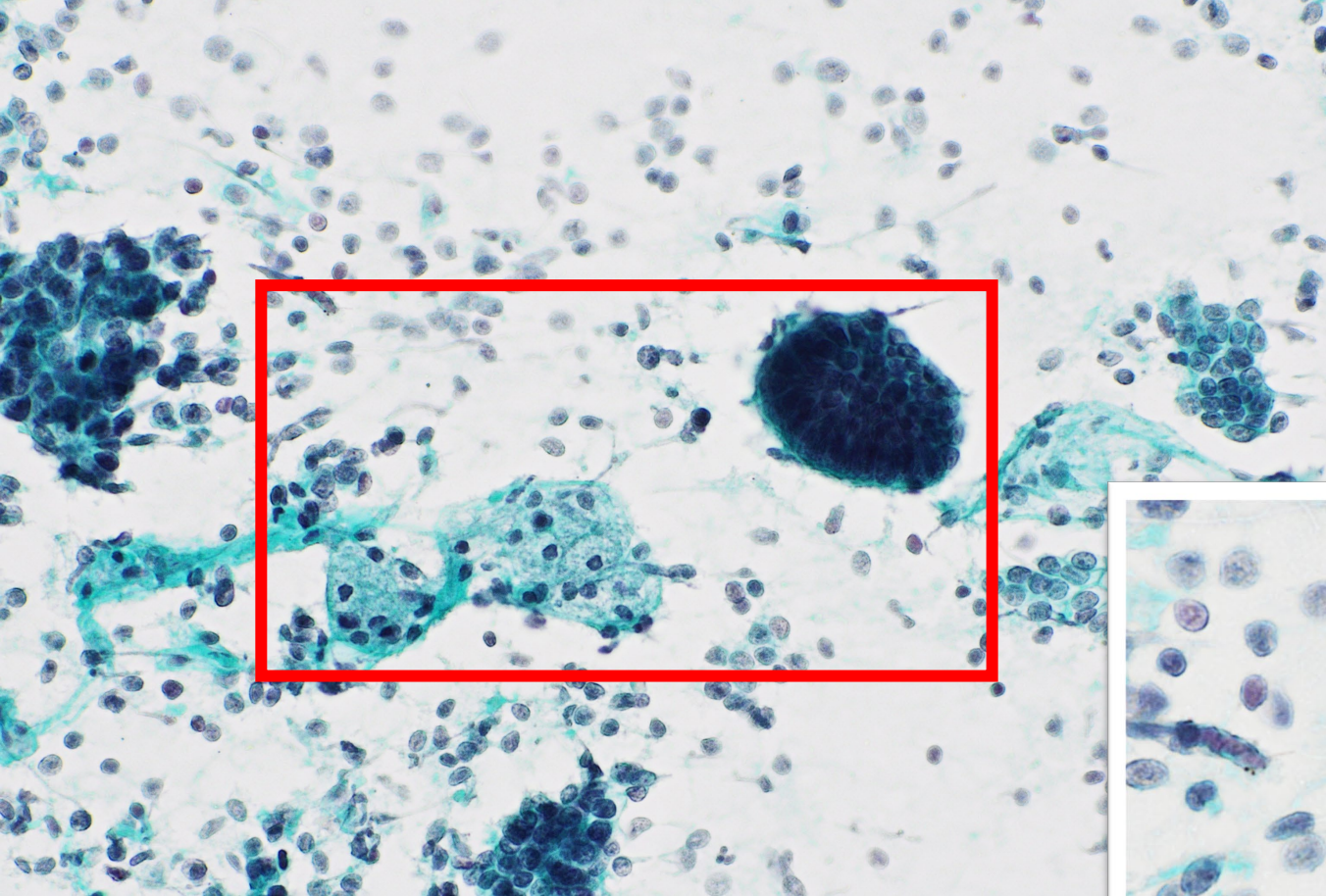




- 上皮筋上皮癌

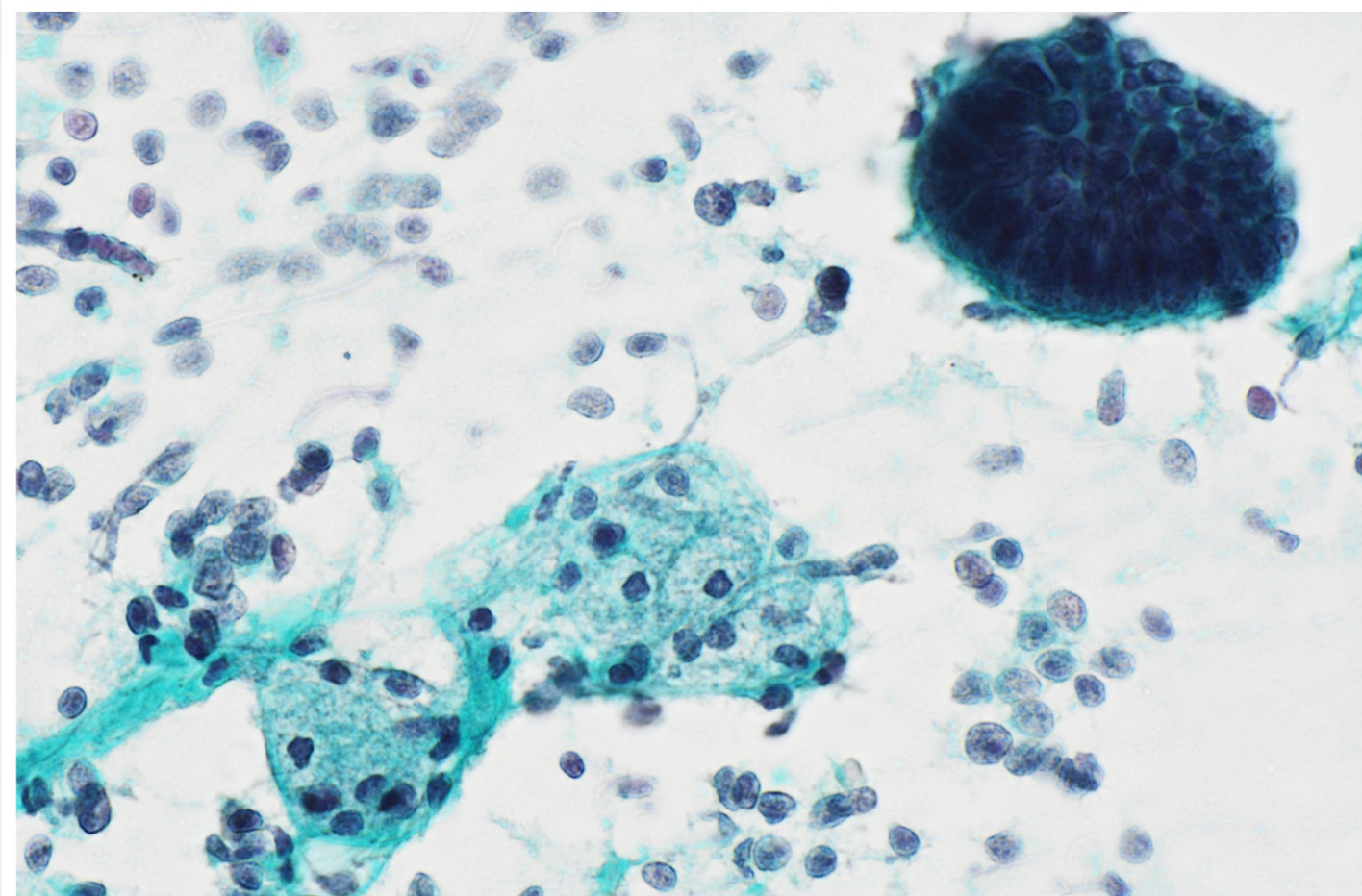
- 腫瘍は柵状または管状配列を示す上皮細胞と、淡明な細胞質を有する筋上皮細胞からなる。細胞間に基底膜をみる。

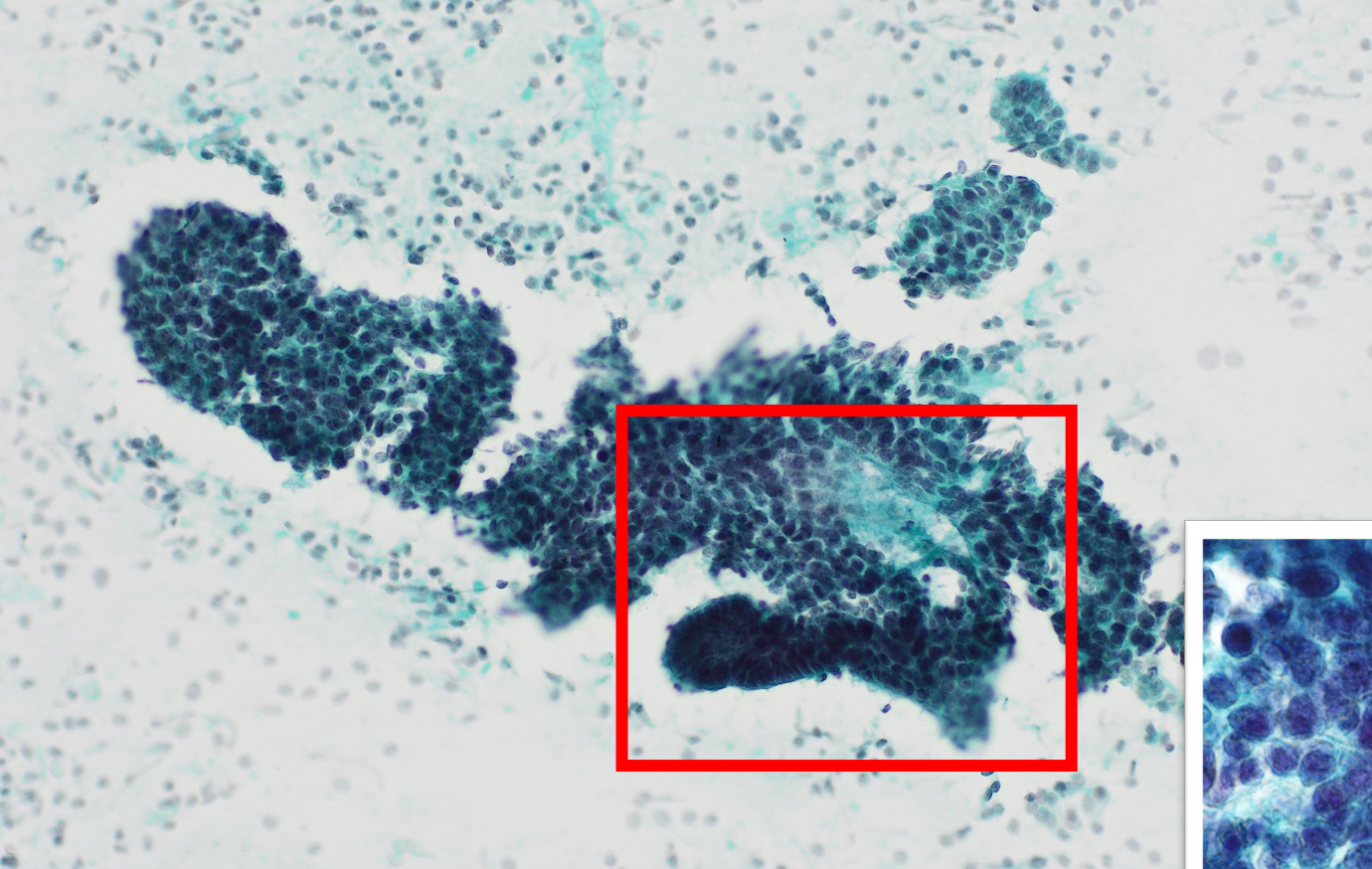




- 背景に裸核から平面的シート状配列の筋上皮細胞、密な細胞集塊を示す上皮細胞をみる

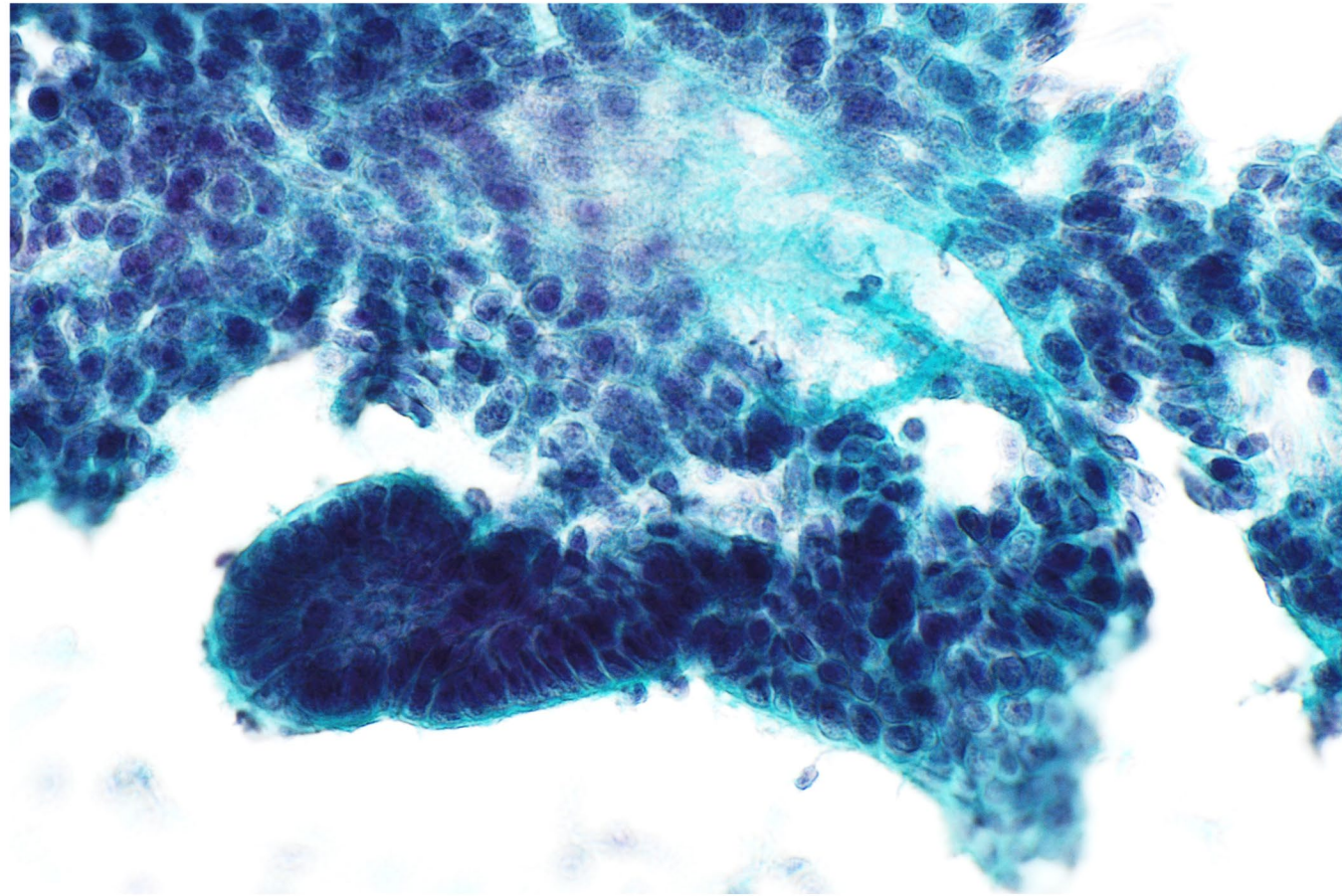
- 筋上皮細胞の平面的なシート状配列の細胞質は淡い
- 上皮細胞の集塊は結合性が強く、重積性を示す

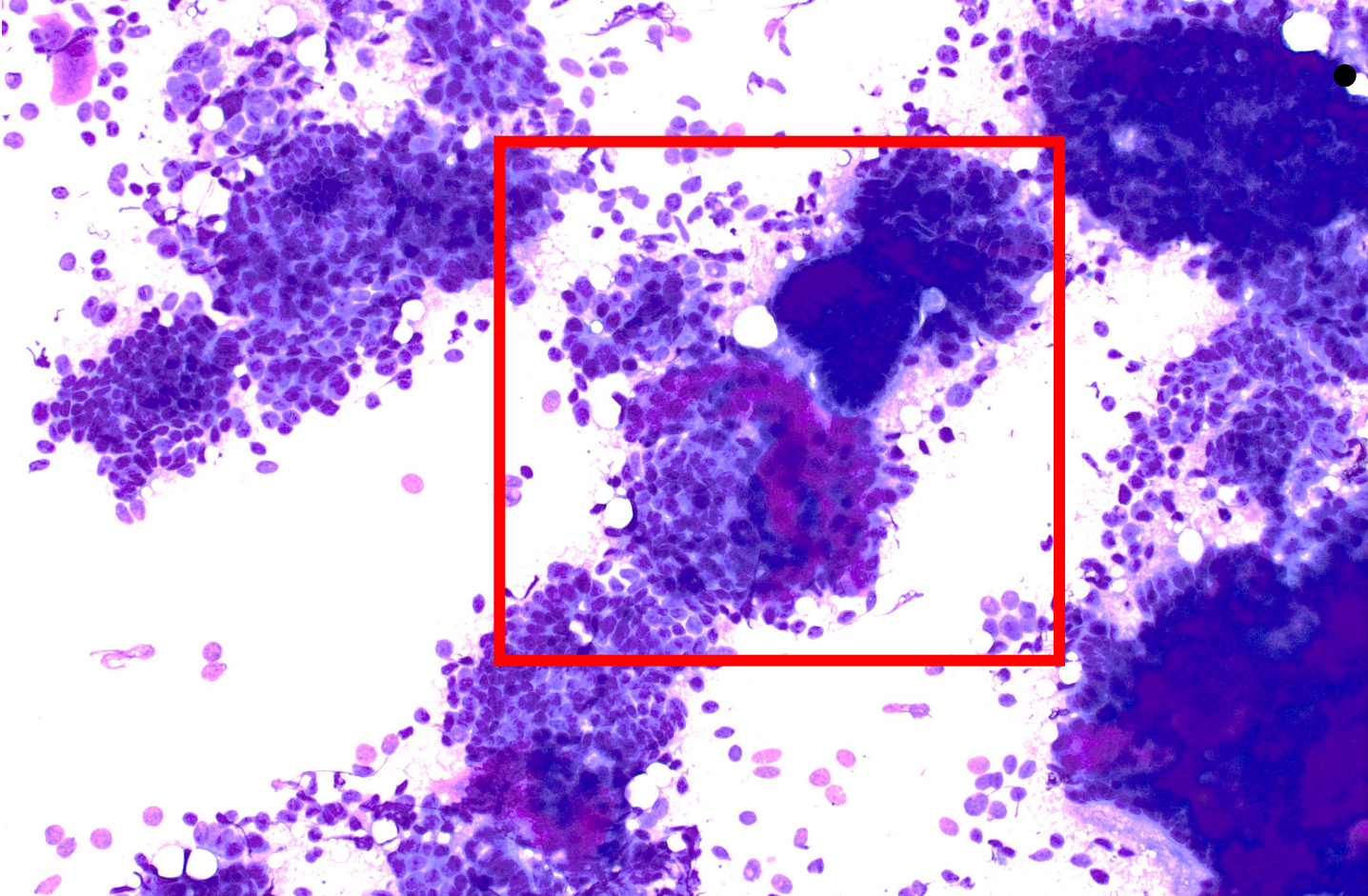




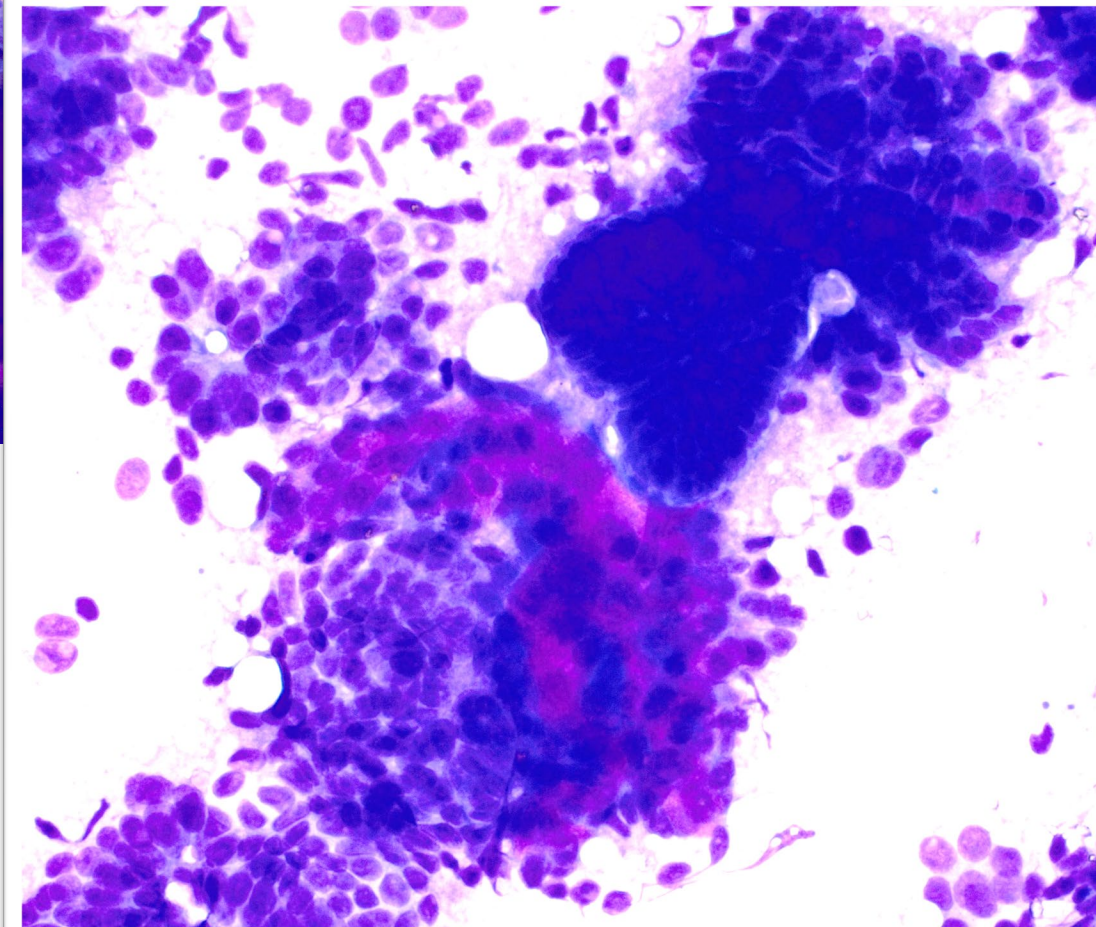
- 裸核状細胞を背景に強弱の結合性を示す細胞集塊をみる

- 筋上皮細胞は1-2層の平面的配列、中にライトグリーンの物質をみる
- 上皮細胞は密な結合集塊で辺縁に柵状配列





● Giemsa染色：裸核状細胞と弱い結合の筋上皮細胞と強い結合で密な集塊の上皮細胞をみる



- 弱い結合性細胞の集塊内に異染性を示す太い膜状物質がみられる。

	富細胞性多形腺腫	筋上皮腫	基底細胞腺腫	腺様嚢胞癌	上皮筋上皮癌
臨床事項	40歳代女性 耳下腺	40-50歳代 耳下腺	高齢女性 耳下腺	40-70歳代 顔面神経麻痺	60歳代 耳下腺、顎下腺
(Papanicolou染色) 細胞集塊と配列	辺縁散在性 充実散在＞腺管	辺縁散在性 充実散在＞多彩	辺縁スムーズ 管状＞策状＞ 充実散在	辺縁スムーズ 篩状＞管状＞ 充実散在	辺縁散在性 筋上皮①：充実散在 上皮②：管状＞柵状
結合性	弱い～中等度	弱い～中等度	強い	中等度～強い	①：弱い～②：強い
細胞（核）形態	類円形～ 短紡錘形	類円形 紡錘形 (裸核様)	類円形単一 集塊辺縁で 柵状配列	類円形～ 紡錘形	①：類円形（裸核） ②：類円形～短紡錘 形（柵状配列）
腺細胞	少	無	多	少	②多
扁平上皮 化生細胞	少	少	少	無	稀
形質細胞様細胞	有	有	無	無	無
間質物質	稀	稀	基底膜に付着	稀	基底膜に付着
(Giemsa染色) 間質性粘液	乏しい羽毛状 稀に球状	乏しい羽毛状	稀に小球状	集塊内に球状 (篩状)	稀
基底膜様物質	稀	稀	集塊辺縁に膜状	球状内に膜状	集塊内に太い膜状 稀に球状

まとめ

- 類基底細胞腫瘍は単一な小型類円形細胞の出現でみられ、良性腫瘍と悪性腫瘍が鑑別に上がる
- ミラノ判定ではSUMPに区分する事が多いが、細胞所見にて組織型の推定を示唆することが大切である
- 組織型推定を考えると類基底細胞腫瘍の細胞形態は類似するが、ポイントは集塊と配列、結合性の違い
- 共に出現する腺細胞と扁平上皮化成細胞、形質細胞様細胞、間質物質の確認
- Giemsa染色にて間質性粘液と基底膜物質を確認
- これらの細胞所見を総合的に考え判定する

作成者の許可なく、複写・転用を禁じます。

Unauthorized copying or
reproduction is prohibited.